

ELECOM

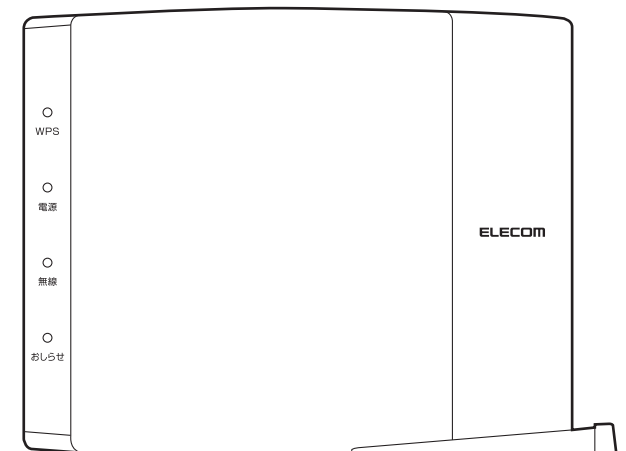
Wireless Broadband Router

IEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANブロードバンドルータ

WRC-300GBK

User's Manual

導入時の基本的な手順は、製品に付属する
「かんたんセットアップガイド」等をお読み
ください。



エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線LANブロードバンドルータ「WRC-300GHBK」を称して「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線LANルータ	無線LANブロードバンドルータを略して「無線LANルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線LANルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線LAN子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線LAN子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線LAN子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

ELECOM

IEEE802.11n/11g/11b 準拠 無線LANブロードバンドルータ

WRC-300GHBK

User's Manual ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコムのIEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定をおこなう場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

本製品の基本的な導入手順については、付属の印刷物による各種説明書をお読みください。

安全にお使いいただくために

本マニュアルでは製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注 意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちにパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



製品には、ACアダプタまたは電源コードが同梱されています。

製品に同梱されているACアダプタまたは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプタまたは電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプタまたは電源コードを大切に。

ACアダプタまたは電源コードのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。



36～64chは、屋外で使用しないでください。

電波法により、W52、W53は屋外の使用が禁止されています。



注 意

-  ACアダプタまたは電源コードのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本もの延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
-  ACアダプタまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
-  通気孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。
-  高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
-  本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
-  ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

- 無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
 - 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用する事
- これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
---------------	---

Chapter 1 導入編 9

1 製品の保証について	10
2 サポートサービスについて	11
3 このマニュアルをお読みになる前に	12
4 本製品の概要について	14
本製品の特長	14
本製品の動作環境	16
5 各部の名称とはたらき	17
6 設定ユーティリティについて	21
7 作業をおこなう前に	23
接続事業者との契約状況を確認する	23
終端装置のタイプについて	24
設定に必要なプロバイダ情報を用意する	24

Chapter 2 接続編 27

1 セットアップの流れ	28
2 本製品を設置する	30
接続の準備をする	30
本製品を接続する	31
3 ウィザードを使ったセットアップ	34
設定ユーティリティを表示する	34
インターネット接続設定ウィザードで セットアップする	37
4 本製品に無線 LAN で接続する	41
はじめにご確認ください	41
WPS ボタンを使って接続する	42
PIN コードを入力して接続する	44
手動設定で接続する	46

Chapter 3 詳細設定編 49

1 設定ユーティリティ画面について	50
設定ユーティリティ画面を表示する	50
設定ユーティリティ画面の内容	52
2 インターネット設定	53
3 無線 LAN 設定	54
基本設定	54
WPS 設定	56
4 セキュリティを設定する(無線の暗号化)	57
暗号化設定	58
5 WAN&LAN 設定	61

LAN 設定 画面	61
固定 DHCP 設定 画面	62
WAN 設定 画面	65
DDNS 画面	74
6 こどもネットタイマーの設定	76
7 LED 省電力機能の設定	79
8 ファイアウォールの設定	80
アクセスコントロール 画面	80
ポートフォワーディング 画面	83
URL フィルタリング設定 画面	86
DMZ 設定 画面	88
QoS 画面	89
9 システム設定	92
機器のステータス 画面	92
設定保存 / 読込 画面	94
パスワード設定 画面	96
10 ファームウェアのアップデート	97
最新ファームウェアのお知らせ機能	98
オンラインで更新する方法	100
手動で更新する方法	101

Appendix 付録編 105

1 AP モードで設定ユーティリティに アクセスする	106
2 スマートフォンから手動で無線接続する	109
iPhone 等 / Android 端末から本製品に 無線接続する	109
iPhone / Android 端末からインターネットに 接続する	117
3 スマホ / タブレットからの詳細設定	120
4 サービス情報サイト使用時の設定	121
5 こんなときは	124
6 パソコンの IP アドレスの確認方法	127
パソコンの IP アドレスを表示する	127
工場出荷時での表示結果	129
7 基本仕様	130

Chapter 1

導入編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については個装箱に記載の保障規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、個装箱に記載の保障規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

P11「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00（祝日営業）

※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報」「補足編」の3つのマニュアルが付属しています。各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

●「セットアップガイド」のおもな内容

- 本製品をインターネット機器（終端装置）に接続する手順。
- 付属のセットアップCDを使ってWindowsパソコンから本製品およびインターネットへ接続する方法。
- スマートフォン/タブレット（AndroidまたはiOS）から、無料アプリを使って本製品およびインターネットへ接続する方法。
- CD-ROMドライブがないために付属セットアップCDが使えない場合のWindowsパソコンからの設定方法。
- Macからの設定方法。

●「製品情報」のおもな内容

- 本製品の各部の名称とはたらき。
- 本製品の基本情報。
- 工場出荷時における設定値および基本仕様。
- 注意事項。
- FAQ（困ったときにお読みください）。

●「補足編」のおもな内容

- こどもネットタイマー機能の設定方法。
- Wi-Fiゲーム機から本製品への接続方法。
- 本製品を活用するためのヒント。
- サポートサービスのご案内。

※マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

●ユーザーズマニュアルの内容について

ユーザーズマニュアルは、基本的に印刷物のマニュアルに記載されていない内容について説明しています。詳しくは「もくじ」および内容をご覧ください。

- Web版の設定ユーティリティのウィザード機能を使って、パソコンからインターネットへ接続する方法。
- 無線LAN子機から本製品へ接続するための設定手順（WPS、PINコード、手動設定）。
- Web版の設定ユーティリティに搭載された機能の詳細な説明。
- カメラ機能がない、QRコードが読み取れない場合のスマートフォン/タブレットから本製品へ接続する方法。

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合

エレコム・ホームページのサポートページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

4 本製品の概要について

本製品の特長

●ハイパワー無線LANブロードバンドルータの「ギガビット」対応モデル

本体背面にギガビット（1000BASE-T）対応の有線LANポートを4ポート搭載しています。ギガビット対応の有線LAN機器との間で、より高速なデータ通信が可能です。

●IEEE802.11n準拠で最大300Mbps（理論値）の高性能ルータ

IEEE802.11nに準拠し、無線LANで最大300Mbps（理論値）という高速なデータ通信が可能です。送信用2本、受信用2本のアンテナを装備し、障害物にも強く、1階と2階というような距離でも安定した通信が可能です。

●設定ツールでWindowsパソコンからのインターネット接続がさらに簡単

付属セットアップCDに含まれる「かんたんセットアップツール」を使用することで、Windowsパソコンからのインターネット接続設定が簡単にできます。PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

●パソコン不要！アプリとQRコードでスマートフォン/タブレットから簡単設定

iPhone/iPad/iPod touchおよびAndroid端末のカメラ機能付きモデルから、本製品へWi-Fi接続するための専用アプリ「QR link」をご用意しました。「App Store」または「Google Playストア」からアプリをインストールして使用すると、QRコードを読み取るだけで簡単に本製品へ接続できます。パソコンを一切使わずに、画面をタップするだけで、本製品へのWi-Fi接続およびインターネット接続の設定ができます。

また、カメラ機能を搭載していないモデルやQRコードが読み取れない場合でも、暗号キーを使った手動設定で、Wi-Fi接続とインターネット接続の設定が可能です。

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品上面（縦置き時）のWPSボタンまたは設定ユーティリティ画面上のWPSボタンを押すことで、セキュリティ設定を含めた無線LAN接続を簡単に完了できます。

●お子様のインターネット接続を制限できる「こどもネットタイマー」機能搭載

お子様がWi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。お子様のインターネットの利用を安心して管理することができます。設定は無線端末ごとに可能で、たいへん便利です。

●“イカロスモバイルセキュリティ for Android”90日間特別体験版が付属

セキュリティアプリ“イカロスモバイルセキュリティ for Android”90日間無料シリアルキーを添付し、最大3台まで登録可能です。スマートフォンなどのAndroid端末をウイルスから保護したり、紛失・盗難時の情報漏えいを防止することができます。※iOS搭載機器は対象外です。

●LEDランプを消灯できる「LED省電力モード」を搭載

本製品の消費電力を抑える「LED省電力モード」を搭載しました。省電力機能を「有効」にすると、電源・おしらせランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

●スイッチひとつでルータを無効にできる「APモード」搭載

ケーブルテレビモデム、ONU、CTUなどの終端装置にルータ機能が内蔵されている場合に、本製品のルータ機能をオフにできるAPモードを装備しています。本体背面のスイッチを切り替えるだけで設定を変更できます。

●IPv6 Bridge機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6 Bridge」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。また、有害なWebサイトへのアクセスを制限するURLブロック機能などを備えています。

●特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能に対応しています。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。複数のサービスに個別に帯域幅を割り当てることができます。

●バーチャルサーバ機能を搭載

ポート転送（ポートフォワーディング機能）を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバ」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE 接続など、IP アドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミック DNS（クリアネット）サーバへの接続機能を備えていますので、IP アドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。Windows Messenger などの UPnP 対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP 対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できる DMZ 機能も備えています。

●その他、豊富な機能を搭載

- 接続する無線 LAN 規格を選択可能
- NTP（Network Time Protocol）サーバを自動検出して時刻を自動設定
- ファームウェアが設定ユーティリティから簡単にアップデート可能

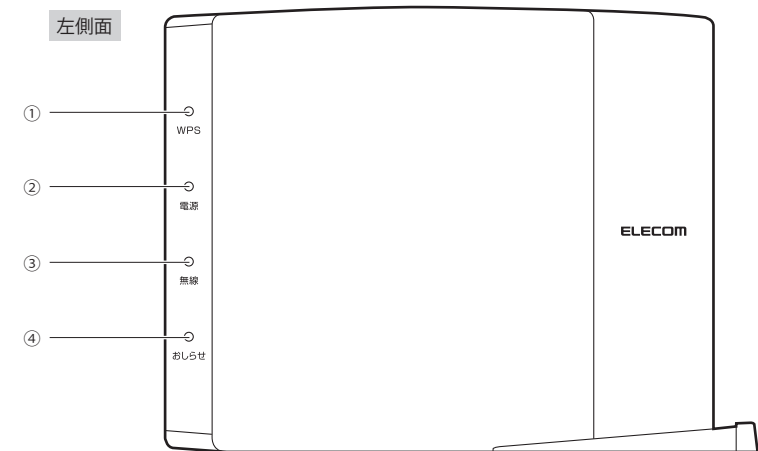
本製品の動作環境

ルータ機能については、TCP/IP プロトコルを利用できる OS であれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。
また、Web ベースの設定ユーティリティを採用していますので、本製品の設定には Web ブラウザが必要になります。

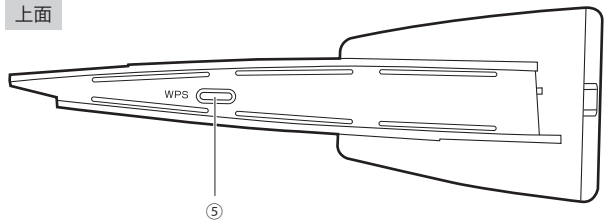
対応機種および OS	Windows 8/7/Vista/XP（SP3～）を搭載する Windows マシン Mac OS X（10.8/10.7/10.6/10.5/10.4）をインストールした Intel 製 CPU を搭載した Mac
Web ブラウザ	Internet Explorer 5.5 以降
かんたんセットアップ CD	Windows 8/7/Vista/XP（SP3～）を搭載する Windows マシン

5

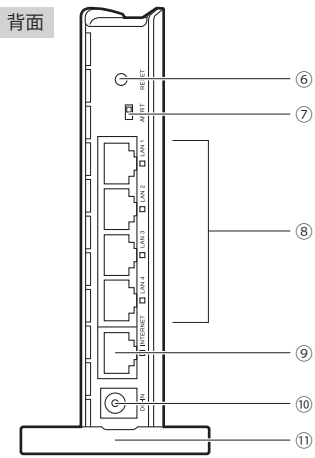
各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
①	WPS ランプ(赤色)	点滅：WPS 設定ボタンを押して WPS 機能を実行している状態です。 約 2 分間、0.5 秒間隔で点滅します。 消灯：WPS 機能を実行していない状態です。
②	電源ランプ(青色)	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。
③	無線ランプ(青色)	無線 LAN（11n/g/b）の接続状況を表示します。 点灯：無線クライアントと接続中です。 点滅：無線クライアントと接続を開始して 10 秒以内の状態です。 消灯：無線クライアントがない状態です。
④	おしらせランプ(赤色)	点灯：WAN 側の IP アドレスを取得できていない状態です。インターネットには接続できません。 点滅：アップデート可能なファームウェアがサーバ上にあります（ファームウェアのアップデート通知機能が有効な場合のみ）。またアップデート作業中も点滅します。 ※ AP モードで使用時は、このランプは消灯したままになります。



番号	名称	はたらき
⑤	WPS 設定ボタン	WPS 機能搭載の無線 LAN 子機 (無線アダプタなど) と接続するときに使用します。使用するときは、2 秒以上押します。



番号	名称	はたらき
⑥	リセットボタン	このボタンを 10 秒以上押し続けると、電源ランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます (工場出荷時の状態に戻ります)。電源ランプ点滅中は、電源を切らないでください。
⑦	RT/AP モード 切り替えスイッチ	本製品を RT (ルータ) モードで使用するか、 AP (アクセスポイント) モードで使用するかを 選択するスイッチです。 初期値は「RT モード」です。 (縦置き時) RT モード  AP モード 
⑧	LAN ポート / LAN ランプ 1~4 (青色)	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。 各ポートの横には、LED ランプが付いています。 点灯：有線 LAN 接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
⑨	INTERNET ポート / INTERNET ランプ (青色)	各種モデム (ONU、CTU など) の WAN 側機器からのケーブルを接続します。 ポートの横には、LED ランプがついています。 点灯：WAN 側機器とのリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
⑩	DC IN (電源ジャック)	本製品に付属の AC アダプタを接続します。本製品に付属以外の AC アダプタを接続しないようにしてください。
⑪	スタンド	本製品は、付属のスタンドを使用することで、縦置き、横置きどちらにでも対応します。スタンドの使用方法については、P20 「設置方法と設置時のご注意」をお読みください。

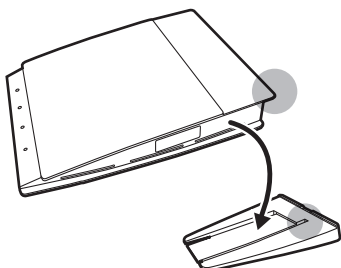
●設置方法と設置時のご注意

本製品は、縦置き/横置き、いずれでの設置にも対応しています。いずれの場合も、本体が安定するように、必ず付属のスタンドにセットしてください。また、いずれの場合も、転落・引き抜け防止処置をとってください。本製品が動作している状態での転落や、コネクタ類の引き抜けは故障・データ消失の原因となります。

スタンドは本体に固定されません。ケーブル類を本体に接続したあと、スタンドに設置してください。

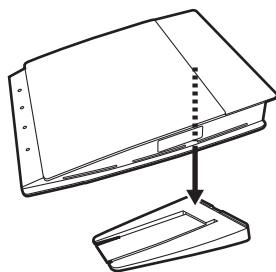
◆縦置き時

- LEDランプがある側を前方にします。
- イラストを参考に本体の後方が付属のスタンドの溝にぴったり収まるようにセットします。



◆横置き時

- LEDランプがある側を上面にします。
- 本体を付属のスタンドの中央後方に載せるように置いて、本体がぐらつかないようにします。



6 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティの[ホーム]に表示されるボタンの内容を説明します。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

MEMO

設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続するか、無線LANでパソコンから本製品にアクセスできるようになっている必要があります。

設定ユーティリティの表示方法

P34「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。

ELECOM

ルータモードで動作中

WRC-300GHBK

設定メニュー

▶ インターネット設定

▶ 無線LAN設定

▶ WAN & LAN設定

▶ こどもネットタイマー

▶ LED省電力設定

▶ ファイアウォール設定

▶ QoS

▶ システム

機器のステータス

本製品のシステム情報を表示します。

システム

稼働時間： 0日 0時14分34秒

ファームウェアバージョン： v1.00.03

動作モード： ルータモード

現在時刻： 2013年10月18日 11時44分30秒

LAN側設定

IPアドレス： 192.168.2.1

サブネットマスク： 255.255.255.0

DHCP： Enabled

MACアドレス：

WAN側設定

IPアドレス取得方法： DHCP未接続

IPアドレス： 0.0.0.0

サブネットマスク： 0.0.0.0

デフォルトゲートウェイ： 0.0.0.0

MACアドレス：

DNS Server： 0.0.0.0

無線設定状況(2.4G SSID)

メニュー項目	内容
インターネット設定	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P53)
無線LAN設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定(→P54)、暗号化設定(→P58)、WPS設定(→P56)、があります。
WAN & LAN設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P61)、WAN設定(→P65)があります。
こどもネットタイマー	専用の接続ID「こどもネットSSID」を使用し、タイマー設定することで、ゲーム機をはじめ各種Wi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができるメニューです。(→P76)
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P79)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P80)、ポートフォワーディング(→P83)、URLフィルタリング(→P86)、DMZ(→P88)があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P89)。
システム	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P92)、ファームウェア更新(→P97)、設定保存と読込(→P94)、パスワード設定(→P96)があります。

7 作業をおこなう前に

本製品と機器の配線作業をおこなう前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。すでにルータを使わずにインターネットに接続できている場合は、①～③についての確認の必要はありません。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスなどNTT西日本およびNTT東日本のサービスについては、別途プロバイダとの契約が必要です。

②終端装置は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSLなどの終端装置と本製品を接続する必要があります。終端装置を別途購入されるように契約している場合は、対応する終端装置をご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事と終端装置の準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、有線または無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途LANアダプタや無線LAN子機を準備してください。

また、無線で接続する場合は、IEEE802.11n/11g/11bいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線LAN子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

無線LAN子機から本製品への接続には、本製品のSSIDおよび暗号キーが必要になることがあります。これらは本製品に付属の設定情報シートに記載されています。

終端装置のタイプについて

本製品は、ルータ機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルータです。現在、プロバイダから提供される終端装置には、すでにルータ機能が内蔵されている製品があります。ルータ機能内蔵の終端装置に本製品を接続する場合でも、本製品のウィザード機能を使用することで、適切な状態でインターネットに接続できます。ただし、終端装置に内蔵されているルータ機能を使用したい場合や、本製品をAPモードで使ったほうが、より良い性能を発揮できる場合があります。このような場合は、本製品背面にある「RT/APモード切り替えスイッチ (→P19)」を「APモード」側にして使用してください。

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品のウィザード機能は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

MEMO

APモードでご使用の場合

終端装置に搭載されたルータ機能を使用しているため、本製品をAP（アクセスポイント）モードで利用する場合は、P41「4. 本製品に無線LANで接続する」をお読みください。

プロバイダの情報について

ご契約のプロバイダによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダ側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE接続方式の場合

NTTフレッツサービスのうち「PPPoE接続」でインターネットに接続するプロバイダの場合は、ユーザーIDとパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID（ユーザ名）【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーIDに「@」が入っている場合は、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダ識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が必要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルータ機能が用意されている場合

プロバイダから提供されている終端装置に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP接続方式の場合

DHCP接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。本製品のウィザードを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C 固定IPアドレスの場合

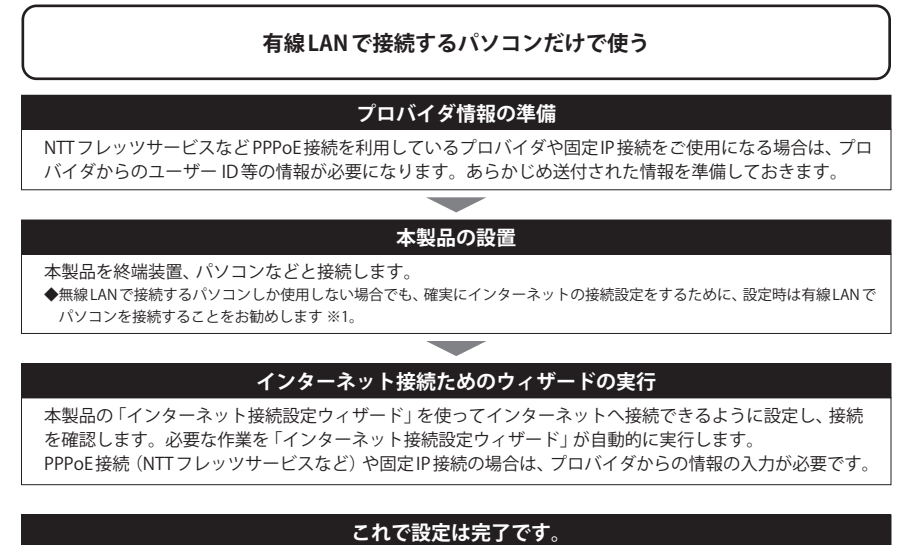
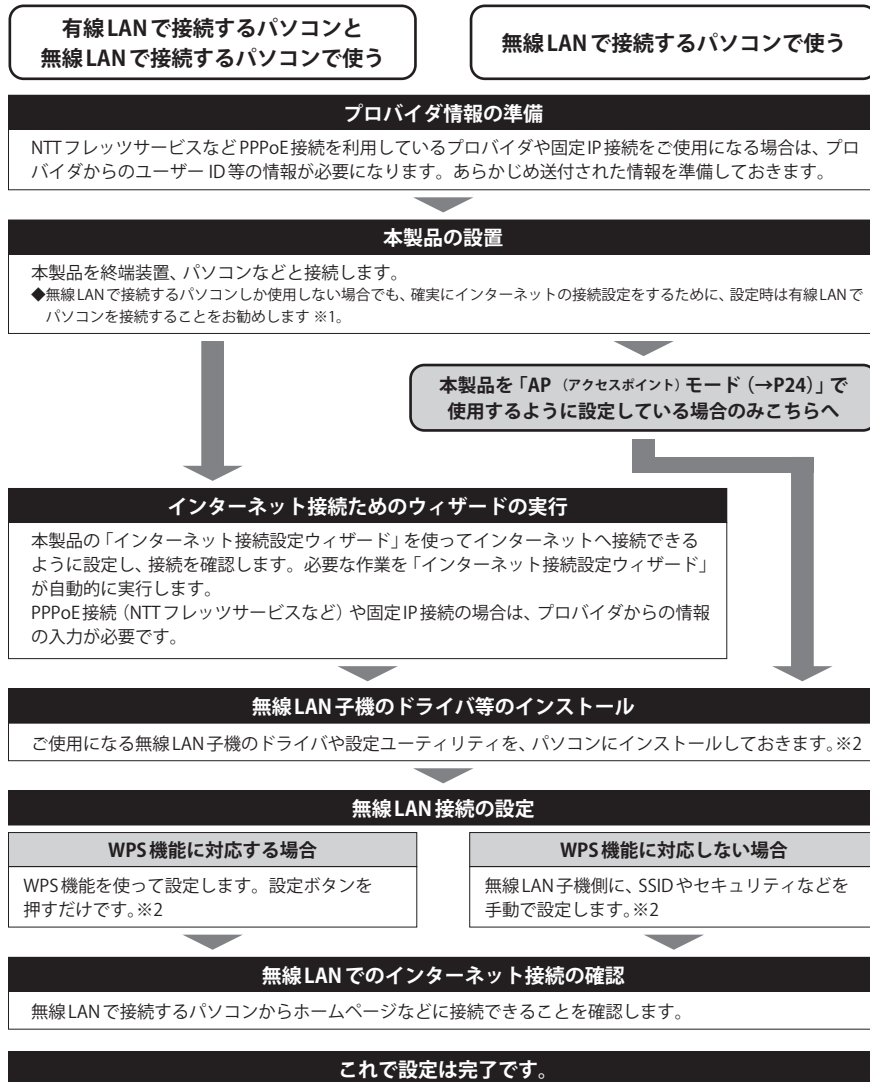
インターネット側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）が固定で割り当てられるサービスです。あらかじめお手元にIPアドレス等の情報が書かれた資料をご用意ください。

Chapter 2

接続編

1 セットアップの流れ

ユーザーズマニュアルの説明を利用する場合のセットアップの流れです。



※1 無線 LAN でしか接続しない場合でも、設定時は本製品の設定ユーティリティに接続するために有線 LAN に対応したパソコンをご用意ください。

※2 無線 LAN 子機側の設定については、無線 LAN 子機の説明書をお読みください。

2 本製品を設置する

本製品をブロードバンドモデムなどの終端装置と接続します。

接続の準備をする

1 作業の前に確認します。

□Check 1

●インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。

●プロバイダからの書類を用意します。

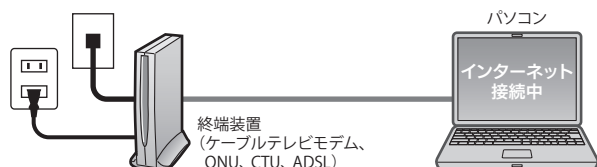
- ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザーIDとパスワード(※)を設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダから提供された書類に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。

※プロバイダにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワード/アクセスキーなど、名称が異なります。

□Check 2

すでに終端装置とパソコンが接続されている場合

すでにルータを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。



□Check 3

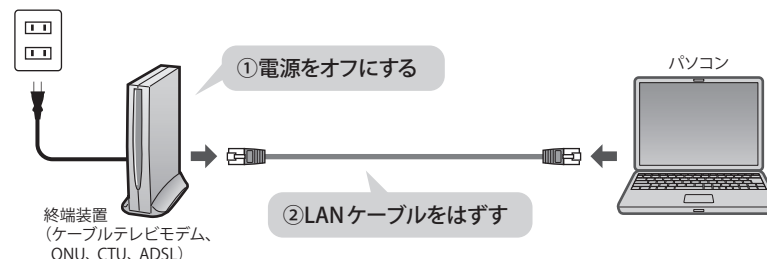
すでに使用中の有線/無線ルータから「お乗り換え」の場合の確認事項です。

- ご使用中のルータの設定プログラム(アプリケーション)は、すべて削除します。
- ルータをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされている場合があります。これらはすべて削除してください。

※ご不明な点がある場合は、お手持ちのルータのメーカーにお問い合わせください。

2 作業の前にご利用中の回線をいったんオフにします。

- ① 終端装置(ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSL)の電源を切ります。
 - ② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。
 - ケーブルテレビモデムの場合、そのまま10分以上おいてください。
- ※ご契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。



注意

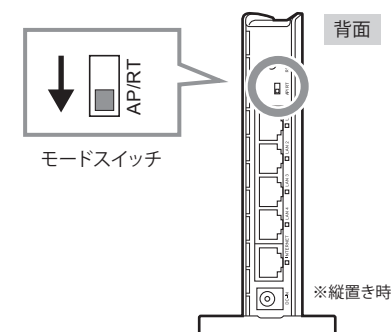
終端装置の電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

本製品を接続する

MEMO

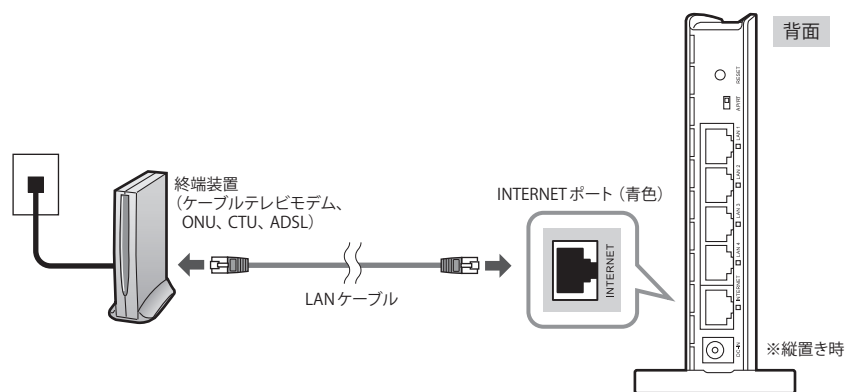
APモードについて

本製品の上位にルータが存在した場合でも、通常は特にモードスイッチを変更することなくご使用いただけますが、ルータ機能を搭載した終端装置を使用したい場合、プロバイダからAPモードで使用するよう指示があった場合、本製品をAPモードで使ったほうが、より良い性能を発揮できる場合は、接続作業をする前に、本製品の背面にあるモードスイッチを「AP」側に変更してください。

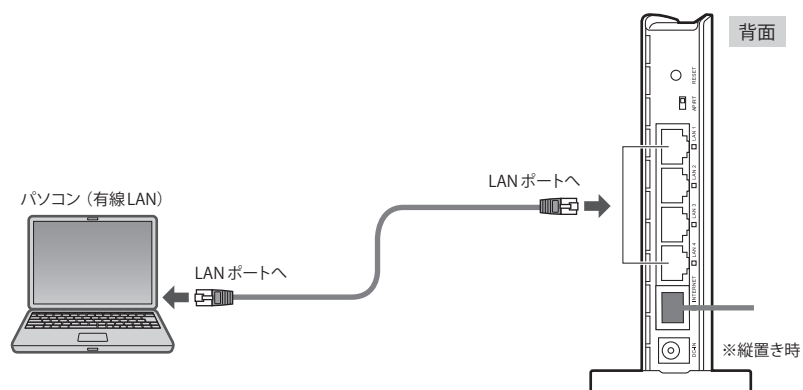


1 機器を接続します。

- イラストを参考に、各機器を配線します。

**MEMO****付属スタンドについて**

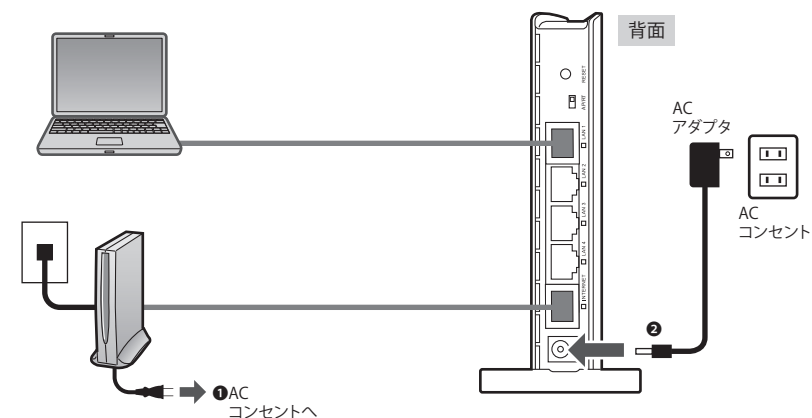
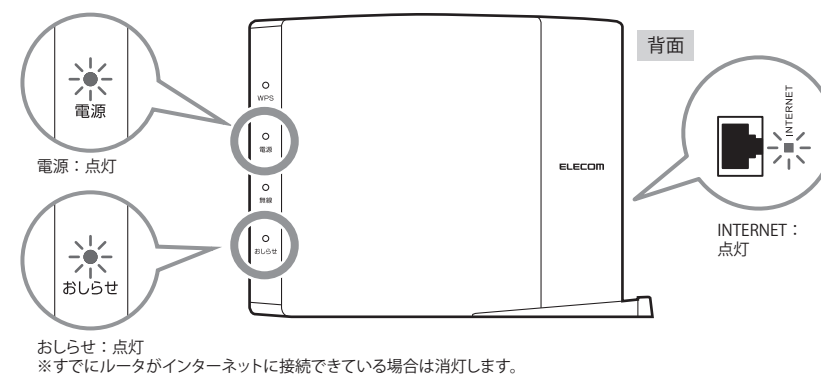
スタンドの取り付け方法の詳細は、P20「設置方法と設置時のご注意」をお読みください。
スタンドは、ケーブルの接続がすべて終わってから本製品にセットしてください。

2 パソコンと本製品のLANポート(4ポートのいずれか)をLANケーブルで接続します。**MEMO****有線LANを使わずに、はじめから無線LANで接続したい場合**

P41「4. 本製品に無線LANで接続する」を参考に、無線LAN子機として使用するパソコンから本製品に無線LANで接続してください。

3 終端装置と本製品の電源を入れます。

- 1 終端装置の電源ケーブルを接続します。
 - 電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。
- 2 本製品に付属のACアダプタを接続します。

**4 モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。****5 次ページへ進みます。**

3 ウィザードを使ったセットアップ

ここでは、有線LAN経由で本製品のWebブラウザ版の設定ユーティリティにアクセスし、設定ユーティリティ上に用意された「インターネット接続設定ウィザード」を使ってインターネットに接続する手順を説明しています。
本製品へ無線LANで接続する方法については、P41「4. 本製品に無線LANで接続する」をお読みください。

MEMO Web版の設定ユーティリティを使わずに設定する

付属の印刷物「かんたんセットアップガイド」の説明をお読みになると、本製品のWeb版の設定ユーティリティを使わずに無線LAN子機やスマートフォン/タブレットから本製品へ接続したり、インターネットへ接続することができます。特にWeb版の設定ユーティリティを使う必要がない場合は、そちらの手順で設定することをお勧めします。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンからWebブラウザを使って表示します。

MEMO パソコンはIPアドレスが自動取得になっている必要があります

このマニュアルでは、本製品のDHCPサーバ機能により、パソコンがIPアドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定のIPアドレスを設定している場合は、パソコンのIPアドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品のIPアドレス(初期値) = 192.168.2.1

1 端末装置と本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- 順序が逆の場合、パソコン側がIPアドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

3 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



- このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

4 認証画面が表示されます。

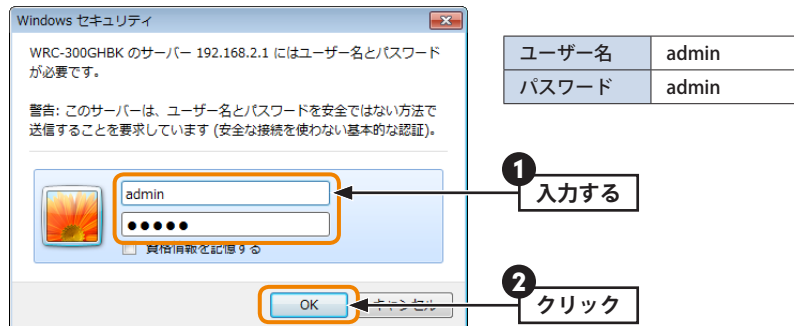


MEMO 認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください(→P127「6. パソコンのIPアドレスの確認方法」)。

5 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- 次ページ「インターネット接続設定ウィザードでセットアップする」へ進みます。



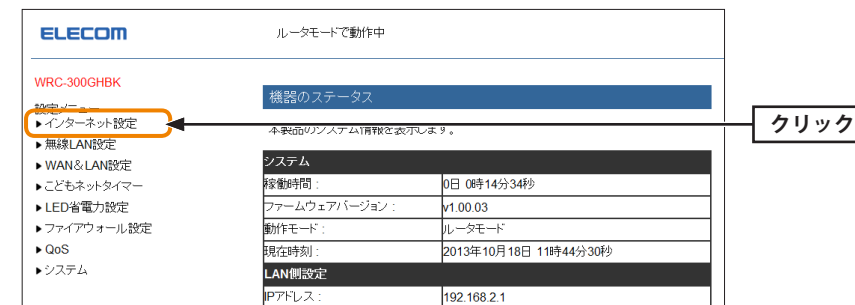
パスワードについて

第三者に設定を変更されたり、悪用されないように、パスワードの変更を強くお勧めします(→ P96 「パスワード設定 画面」)。

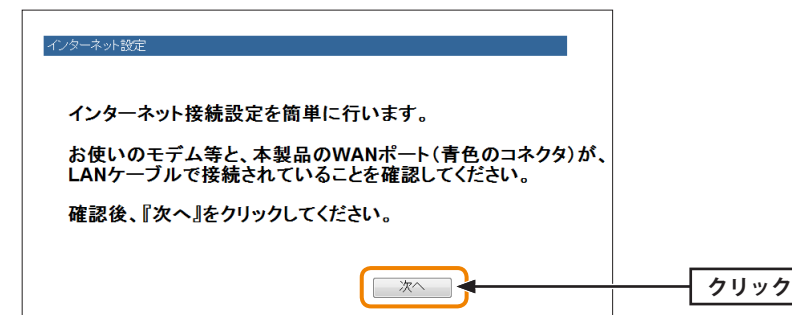
インターネット接続設定ウィザードでセットアップする

「インターネット接続設定ウィザード」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 画面左のメニューリストから「インターネット設定」を選択します。



2 <インターネット設定>画面で「次へ」をクリックします。



- インターネット回線の種別の自動識別が始まります。

3 表示された画面にあわせて、次の説明へ進みます。

●自動的にインターネットへの接続確認が開始した場合 (DHCP 接続)

⇒手順 **5** へ進みます。

●PPPoE 回線の設定画面が表示された場合 ⇒手順 **4a** へ進みます。

お使いの回線は PPPoE 回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。
ユーザー名は、'@'以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大 57 文字)
パスワード: (最大 57 文字)

●固定 IP の設定画面が表示された場合 ⇒手順 **4b** へ進みます。

お使いの回線は、固定 IP 回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、
IP アドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。
もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。
『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定 IP:
サブネットマスク:
デフォルトゲートウェイ:

●本製品(無線ルータ)の上位にすでに別のルータが設置されている場合

⇒ をクリックして手順 **5** へ進みます。

本製品の上位にもルータが設置されています。
ここでは、このまま『次へ』をクリックしてインターネットに接続します。

自宅サーバ等、高度なネットワーク技術が必要とする使い方をされる場合、本製品を
AP モードに変更した方が より良い性能が発揮される場合があります。
通常のインターネット接続/ネットゲーム等のご利用の場合は、このままのモードで問題
ありません。

- ・通常は、そのまま変更しなくても正常にインターネットに接続できます。
- ・本製品(無線ルータ)のモードを変更したい場合は、P24「終端装置のタイプについて」をお読みになったうえで、「RT/AP モード切り替えスイッチ」を「AP」側に変更します。

MEMO

その他の画面が表示された場合

「インターネット接続に失敗しました・・・」「WAN ポートに LAN ケーブルが接続されていないようです。」などの画面が表示され、インターネットに接続できない場合は、以下のようことが考えられます。

●ケーブル等が正しく接続されていない

ケーブル類が正しく接続されているか、機器の電源が入っているかなどを確認してください。機器の接続方法については、P30「2. 本製品を設置する」をお読みください。

●インターネット回線種別を自動判別できない

接続先の終端装置やご使用の環境によって、まれに本製品の回線判別機能では、回線種別を自動的に判別できない場合があります。このような場合は、P65「WAN 設定 画面」をお読みになり、DHCP/PPPoE/固定 IP の中から、回線種別を選択したうえで、必要な設定をしてください。

4a P24「設定に必要なプロバイダ情報を用意する」でメモした内容をもとに必要な情報を入力し、 をクリックします。

お使いの回線は PPPoE 回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。
ユーザー名は、'@'以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大 57 文字)
パスワード: (最大 57 文字)

1 入力する
2 クリック

ユーザーIDに「@」が入っている場合
[ユーザー名]の入力において、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後ろに、必ず「@」と「プロバイダ識別子」を入力してください。
(例) userid123@elecom.net
ユーザー名 プロバイダ識別子

4b あらかじめプロバイダから提供された情報を入力し、**次へ**をクリックします。

お使いの回線は、固定IP回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、IPアドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。
もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。
『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定IP：
サブネットマスク：
デフォルトゲートウェイ：

1 入力する

2 クリック

戻る 次へ

5 インターネットに接続できるか自動的に確認します。その後、インターネットに正常に接続できると、以下の画面が表示されます。

インターネット接続が確認できました！
インターネット接続設定を終了します。
右上の × をクリックし、本画面を閉じてください。

- 画面右上の  をクリックしてブラウザ画面を閉じます。

6 これでインターネットへの接続作業は完了です。引き続き、パソコンと本製品を無線LANで接続する場合は、P41「4. 本製品に無線LANで接続する」へ進みます。

- 本製品の設定のために有線LANで接続していたパソコンを、無線LANで接続するようには、LANケーブルを取り外し、パソコンの無線LAN機能が使用できるように準備しておいてください。

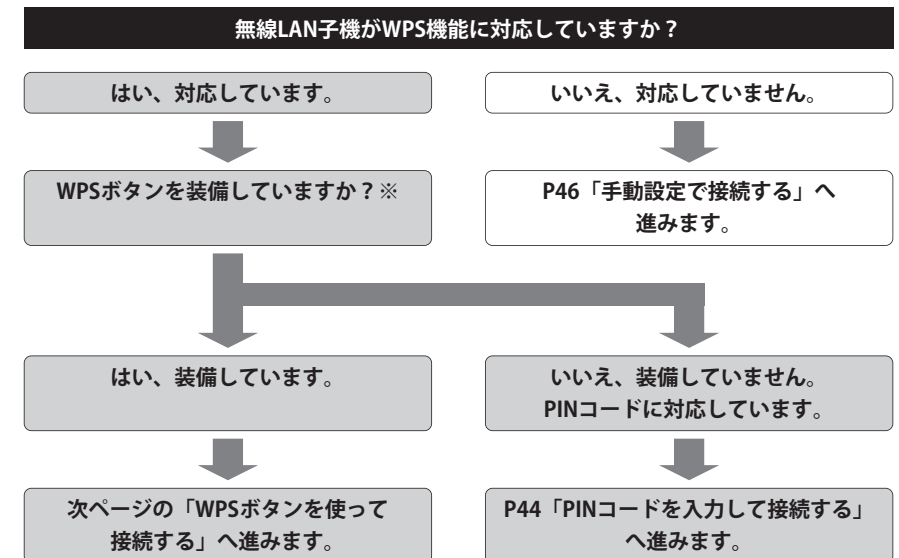
4 本製品に無線LANで接続する

パソコンの無線LAN子機から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線LAN子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。

WPS機能に対応していない無線LAN子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線LAN子機側に設定することで接続することができます。

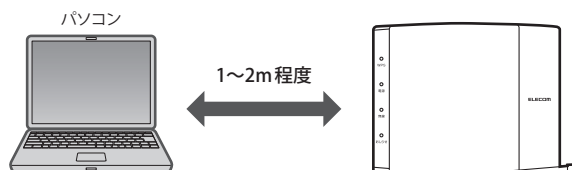


※ WPSボタンについて

WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPS ボタンを使って接続する

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。

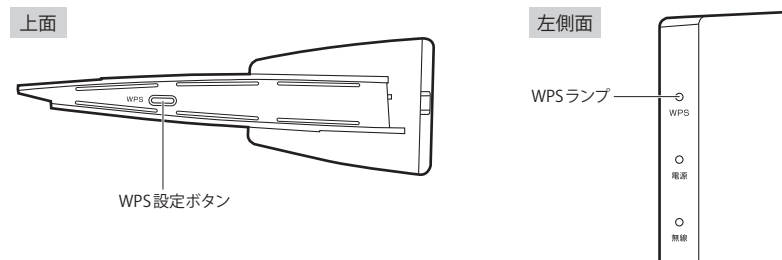


- 2** 無線 LAN 子機の説明書をお読みにになり、無線 LAN 子機側が「WPS」を実行できるように準備します。



※弊社無線 LAN アダプタの設定ユーティリティの画面例

- 3** 本製品の上面(縦置き時)にある「WPS設定ボタン」を2秒以上押して、離します。



- 前面にある WPS ランプが赤色に点滅し、WPS 対応の無線 LAN 子機の接続を待つ状態になります。WPS ランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

MEMO

- 赤色に点灯しない場合は、再度押してください。
- 接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎると WPS ランプは消灯します。

- 4** 無線 LAN 子機側の WPS 用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- 本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。
- ユーティリティによっては、[PBC]など、表記が異なることがありますので、無線 LAN 子機の説明書をお読みください。

- 5** 無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどで、本製品に接続できたことを確認します。

- 6** Web ブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



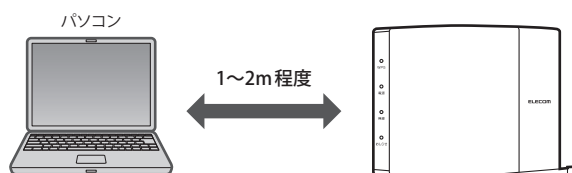
エレコム Web サイト <http://www.elecom.co.jp/>

- 7** これで WPS 機能を使った無線 LAN 子機の設定は完了です。

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。無線LAN子機側に設定されたPINコードを本製品に入力して、WPS機能を実行します。無線親機側のPINコードを使用する場合については、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



- 2 無線LAN子機の説明書をお読みにになり、無線LAN子機のPINコードをメモします。

無線LAN子機のPINコード

- 3 本製品の設定ユーティリティを表示します。

- 設定ユーティリティの表示方法については、P34「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

- 4 画面左のメニューリストから[無線LAN設定]→[WPS設定]を選択します。

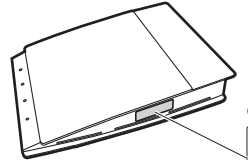
- 5 [無線端末のPINコード入力]に、無線LAN子機のPINコードを入力し、**適用**をクリックします。



- 6 設定後、無線LAN子機を搭載したパソコンからインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線LAN子機の場合は、無線LAN子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下のとおりです。無線LAN子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線LAN子機側に設定してください。

項目	本製品の設定値(初期値)
SSID	2.4G SSID : elecom2g-XXXXXX こどもネット SSID : e-timer-XXXXXX ※Xは、任意の英数字(0～9、a～f)です。
認証方式	WPAプレシェードキー
暗号化方式	AES
WPAユニキャスト暗号スイート	WPA2-PSK (AES)
共有キーフォーマット	パスフレーズ
暗号キー	本製品に付属の設定情報シート、または本製品の底面にある暗号キーラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●設定情報シート  暗号キー (Xには、0～9、A～Hのランダムな半角英数字13文字が入ります) ●暗号キーラベル  暗号キー (Xには、0～9、A～Hのランダムな半角英数字13文字が入ります) ●暗号キーラベル 2.4G SSID : elecom2g-XXXXXX こどもネット SSID : e-timer-XXXXXX Key: XXXXXXXXXXXXXXX KEY記入欄

MEMO

上記の本製品の初期値にあわせ、設定情報シートまたは暗号キーラベル上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを使わずに、無線LAN子機の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



2 無線LAN子機の設定ユーティリティを起動します。

- OS標準の無線LAN機能の場合も、SSIDの一覧を表示させます。

3 設定ユーティリティのリスト上に表示されたSSIDの中から、設定情報シートに記載されたSSIDを選択します。



- Xには、0～9、a～fで構成されたランダムな半角英数字が表示されます。
- こどもネットSSIDは、お子様のインターネットへの接続を制限する「こどもネットタイマー機能」用のSSIDです。ここでは関係ありません。

MEMO

SSIDを自動的に検出できない場合は、手動で無線LAN子機の設定ユーティリティにある「SSID」に設定情報シートのSSIDを半角英数字で入力します。

4 無線LAN子機の設定ユーティリティにある[暗号化]に関する設定画面を表示します。

5 無線LAN子機の説明書をお読みにになり、本製品の設定内容を無線LAN子機側に設定します。

- 本製品の暗号化方式と暗号キーは、設定情報シートに記載されています。

6 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

Chapter 3

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

MEMO

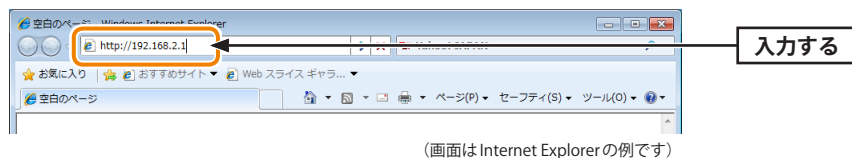
スマートフォン/タブレットから設定ユーティリティを表示する

パソコンを使わずにスマートフォンやタブレットから設定ユーティリティを使用することができます。詳しくは、P120「3. スマホ/タブレットからの詳細設定」をお読みください。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

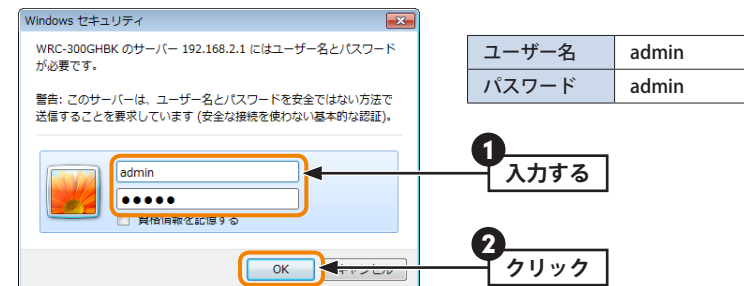


MEMO

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待つてから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OKをクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。



第三者に設定を変更されたり、悪用されないように、パスワードの変更を強くお勧めします(→P96「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容

設定ユーティリティにある各画面の概要を説明します。

メニュー項目	内容
インターネット設定	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P53)
無線LAN設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定(→P54)、暗号化設定(→P58)、WPS設定(→P56)、があります。
WAN & LAN 設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P61)、WAN設定(→P65)があります。
こどもネットタイマー	専用の接続ID「こどもネットSSID」を使用し、タイマー設定することで、ゲーム機をはじめ各種Wi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができるメニューです。(→P76)
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P79)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P80)、ポートフォワーディング(→P83)、URLフィルタリング(→P86)、DMZ(→P88)があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P89)。
システム	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P92)、ファームウェア更新(→P97)、設定保存と読み込み(→P94)、パスワード設定(→P96)があります。

2 インターネット設定

インターネットに接続するために必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続設定ウィザードの操作手順は、P37「インターネット接続設定ウィザードでセットアップする」をお読みください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]を選択します。

インターネット設定

インターネット接続設定を簡単に行います。

お使いのモデム等と、本製品のWANポート(青色のコネクタ)が、LANケーブルで接続されていることを確認してください。

確認後、『次へ』をクリックしてください。

次へ

3 無線 LAN 設定

本製品の無線 LAN 機能を設定します。

基本設定

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線 LAN 設定]→[基本設定]を選択します。

基本設定 (2.4GHz)

こどもネット SSID

2.4G SSID : elecom2g-XXXXXX

チャンネル幅 : Auto 20/40 MHz ▾

チャンネル : Auto ▾

SSIDステルス機能 : 無効 ▾

送信パワー : ☒ 100% ☐ 70% ☐ 50% ☐ 35% ☐ 15%

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

こどもネット SSID ^{※1}	専用の接続ID「こどもネット SSID」を使用し、タイマー設定することで、ゲーム機をはじめ各種 Wi-Fi 機器から本製品への Wi-Fi 接続時間を制限することができます。設定方法については P55 「こどもネット SSID の設定」をお読みください。(初期値 : e-timer-XXXXXX ^{※2})
2.4G SSID ^{※1}	無線 LAN で使用する SSID を入力します。(初期値 : elecom2g-XXXXXX ^{※2})

※1 : 仕様上、本製品は SSID ごとにセキュリティ設定を変更することはできません。

※2 : X は 0～9・a～f で構成されたランダムな半角英数字です。

チャンネル幅	11n 規格でのチャンネル幅を設定します。11n 対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 20/40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1～13ch から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。(例) 1ch/6ch/11ch
SSID ステルス機能	「無効」の場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定した SSID を確認することができます。「有効」にした場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどで、本製品の SSID を表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値 : 無効)
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値 : 100%)

こどもネット SSID の設定

「こどもネットタイマー」機能は、専用の接続ID「こどもネット SSID」を使用し、タイマー設定することで、Wi-Fi ゲーム機などから本製品への無線による接続時間を制限できる機能です。

こどもネットタイマーの設定方法については、P76 「6. こどもネットタイマーの設定」をお読みください。

こどもネット SSID 設定

こどもネット SSID の設定を行います。

No.	有効	SSID (最大32文字)	SSID ステルス機能
こどもネット SSID	☒ 有効 ▾	e-timer-XXXXXX	☐ 無効 ▾

戻る 適用 キャンセル

- 1 [無線 LAN 設定]の〈基本設定〉画面を表示します。
- 2 [こどもネット SSID] をクリックします。
- 3 [有効] を選択します。
- 4 SSID を入力します。初期値では「e-timer-XXXXXX」が登録されています。
- 5 必要に応じて、[SSID ステルス機能]を設定します (P55 の一覧表参照)。
- 6 [適用] をクリックします。

暗号化設定

本製品で設定可能な暗号化セキュリティ機能は「WPA2-PSK (AES)」です。WPA2-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることはできません。



画面の表示

画面左のメニューリストから[無線LAN設定]→[暗号化設定]を選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)通信の暗号化を設定します。

SSIDの選択:

暗号化:

キーの種類:

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

1 [SSIDの選択]で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

SSIDの選択:

暗号化:

キーの種類:

暗号キー:

2 [暗号化]で、「WPA2 AES」を選択します。

SSIDの選択:

暗号化:

キーの種類:

暗号キー:

3 [キーの種類]で暗号化キーの入力形式を選択します。

暗号化:

キーの種類:

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

パスフレーズ (8~63文字)	半角英数字 (8~63文字) を使用できます。
Hex (64文字)	16進数 64文字 (固定) を使用できます。

※ 16進数とは、半角英数字の0~9、a~fを組み合わせた文字列です。

4 [暗号キー]に、手順 3 で選択した入力形式で文字列を入力します。

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

パスフレーズ	半角英数字 (8~63文字) を使用できます。
Hex (64文字)	16進数 64文字 (固定) を使用できます。

※ 16進数とは、半角英数字の0~9、a~fを組み合わせた文字列です。

5 すべての設定が終われば [適用] をクリックします。

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

適用 キャンセル

クリック

6 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。 [更新] をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。
すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

戻る **更新**

クリック

- 他の設定を続ける場合→ [戻る] をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ [更新] をクリックし、手順 **7** へ進みます。

7 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<機器のステータス>画面が表示されます。

8 これで本製品のセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線LAN子機側にも設定してください。

- 無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルをお読みください。

5 WAN&LAN 設定

有線のLANポートおよびINTERNETポートに関する設定などをします。

LAN 設定 画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

画面の表示

画面左のメニューリストから [WAN&LAN 設定] → [LAN 設定] を選択します。

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

DHCP:

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCPクライアントIP範囲: -

DHCPリース時間:

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DHCP	DHCPサーバ機能の有効/無効を設定します。(初期値:有効)
IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。 初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。

DHCPクライアントIP範囲	DHCPサーバ機能を利用する場合、DHCPサーバがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。 [接続端末の表示]をクリックすると、接続中のDHCPクライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。
DHCPリース時間	DHCPサーバによりクライアントに割り当てられるIPアドレスのリース時間を設定します。「通常」に設定した場合、クライアントには継続的に同じIPアドレスが割り当てられます。

固定DHCP設定画面

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[LAN設定]→[固定DHCP設定]を選択します。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 50 です。

☒ 固定DHCPを有効にする

IPアドレス：

(記入例：192.168.2.100)

MACアドレス：

(記入例：0090fe0123ab)

コメント：

(最大19文字、半角英数のみ)

追加

固定DHCPリスト

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
--------	---------	------	----

選択したものを削除 全て削除

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定DHCPを有効にする	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定DHCPリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。
選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

固定 DHCP の設定

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 50 です。

☒ 固定DHCPを有効にする

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字、半角英数のみ)

固定DHCPリスト			
IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択したものを削除 全て削除			

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

- 1 [固定DHCPを有効にする]をチェックします。
- 2 クライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
- 4 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- 5 をクリックします。固定DHCPリストにクライアントが追加されます。
- 6 登録するクライアントが複数ある場合は、2～5を繰り返します。

WAN 設定 画面

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WANタイプ]で、DHCP・PPPoE・PPPoE2・固定IPのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[WAN設定]を選択します。

●「DHCP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANタイプ:

ホスト名: (最大 30 文字)

MTU値: (1400-1500/バイト)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

デフォルトゲートウェイ:

MACアドレス入力:

(接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☒ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。
☒ IPv6ブリッジを有効にする。
☐ HW NATを有効にする。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ホスト名	ルータのホスト名を設定することができます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次のDNSサーバを使用する	プロバイダからDNSサーバを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS 1」に、2個の場合は「DNS 1」と「DNS 2」にアドレスを入力します。
DNS 1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダから提供されたデフォルトゲートウェイを入力します。
MACアドレス入力	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使します。 手動で入力する場合は「手動追加」をクリックしてから入力します。「コピー」をクリックすると、設定ユーティリティに接続しているパソコンのMACアドレスがWAN側のMACアドレスとして使用されます。プロバイダに登録されているMACアドレスを持つパソコンから実行してください。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値: 無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値: 有効)。
HW NATを有効にする	有効にすると、有線接続のスピードがさらに高速になります。(初期値: 無効)

●「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANタイプ: PPPoE
 ユーザー名: userID123@elecom.net
 パスワード: ●●●●●●●●
 サービス名(AC):
 MTU値: 1454 (1360-1492 bytes)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例:192.168.5.44)
 DNS 2: (記入例:192.168.5.43)

MACアドレス入力: 手動追加 123456789012
コピー (接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☒ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。
☒ IPv6ブリッジを有効にする。
☐ HW NATを有効にする。

適用 キャンセル

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) userID123 @ elecom.net ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名(AC)	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。

次のDNSサーバを使用する	プロバイダからDNSサーバを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS 1」に、2個の場合は「DNS 1」と「DNS 2」にアドレスを入力します。
DNS 1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレス入力	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使します。 手動で入力する場合は 手動追加 をクリックしてから入力します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティに接続しているパソコンのMACアドレスがWAN側のMACアドレスとして使用されます。プロバイダに登録されているMACアドレスを持つパソコンから実行してください。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値：無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)
HW NATを有効にする	有効にすると、有線接続のスピードがさらに高速になります。(初期値：無効)

●「PPPoE2」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANタイプ:

PPPoE2

ユーザー名:

userID123@elecom.net

パスワード:

●●●●●●●●

サービス名(AC):

MTU値:

1454

(1360-1492 bytes)

PPPoE 2

ユーザー名:

guest@flets

パスワード:

●●●●

サービス名(AC):

MTU値:

1454

(1360-1492 bytes)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1:

(記入例:192.168.5.44)

DNS 2:

(記入例:192.168.5.43)

MACアドレス入力:

手動追加

123456789012

コピー

(接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☒ UPnPを有効にする。

☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

☒ IPv6ブリッジを有効にする。

☐ HW NATを有効にする。

適用

キャンセル

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とで契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) userlD123 @ elecom.net ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。(初期値：オン)
サービス名(AC)	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1454)
PPPoE 2	
ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とで契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) userlD123 @ elecom.net ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名(AC)	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1454)
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次のDNSサーバを使用する	プロバイダからDNSサーバを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS 1」に、2個の場合は「DNS 1」と「DNS 2」にアドレスを入力します。
DNS 1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレス入力	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使います。 手動で入力する場合は 手動追加 をクリックしてから入力します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティに接続しているパソコンのMACアドレスがWAN側のMACアドレスとして使用されます。プロバイダに登録されているMACアドレスを持つパソコンから実行してください。

UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値：無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。
HW NATを有効にする	有効にすると、有線接続のスピードがさらに高速になります。(初期値：無効)

●「固定 IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANタイプ：

固定IP

IPアドレス：

172.1.1.1

サブネットマスク：

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：

172.1.1.254

MTU値：

1500

(1400-1500 bytes)

DNS 1：

(記入例:192.168.5.44)

DNS 2：

(記入例:192.168.5.43)

MACアドレス入力：

手動追加

123456789012

コピー

(接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☒ UPnPを有効にする。

☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

☒ IPv6ブリッジを有効にする。

☐ HW NATを有効にする。

適用

キャンセル

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

IP アドレス	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1500)
DNS 1	プロバイダから DNS アドレスの指示が 1 個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダから DNS アドレスの指示が 2 個ある場合は、こちらにセカンダリの DNS アドレスを入力します。
MAC アドレス入力	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。 手動で入力する場合は 手動追加 をクリックしてから入力します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティに接続しているパソコンの MAC アドレスが WAN 側の MAC アドレスとして使用されます。プロバイダに登録されている MAC アドレスを持つパソコンから実行してください。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
IPv6 ブリッジを有効にする	プロバイダから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。
HW NAT を有効にする	有効にすると、有線接続のスピードがさらに高速になります。(初期値：無効)

DDNS 画面

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミック DNS のサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミック DNS はサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

あらかじめ DDNS サービスに登録しておいてください

DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

DDNS サービスを利用するにあたって

- DDNS サービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。
- Clear-net (クリアネットサービス) とは、グループ会社ロジテックの対象製品をユーザ登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミック DNS サービスです。クリアネットサービスへの登録については、ロジテックのホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
- DDNS サービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合もあります。更新期間などの詳細はご利用になる DDNS サイトをご覧ください。

画面の表示

画面左のメニューリストから [WAN&LAN 設定] → [WAN 設定] → [DDNS] を選択します。

DDNS

DDNS (ダイナミック DNS) の設定を行います。

DDNS:

☒有効☐無効

プロバイダ:

クリアネット (ロジテック) ▼

ユーザID:

パスワード:

適用

キャンセル

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● 設定の内容

DDNS	ダイナミック DNS を利用する場合は「有効」を選択します。
プロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザID	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

6 こどもネットタイマーの設定

「こどもネットタイマー」機能は、専用の接続ID「こどもネットSSID」を使用したWi-Fi機器に対して、タイマー設定することでWi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができる機能です。お子様のWi-Fiゲーム機の利用時間を制限したい場合になどにお勧めです。

MEMO

パソコンを使わずにスマートフォン/タブレットからも設定できます。設定方法については、本製品に付属の印刷物「補足編」をお読みください。

MEMO

- ・タイマーは1日(0:00~24:00の間)あたりのWi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を設定できます。
例：3時間と設定した場合、1日の接続時間が累計で3時間を超えると通信できなくなります。
- ・Wi-Fi接続を中止すると、カウントはそこで停止し、Wi-Fi接続を再開するとカウントを開始します。
- ・機器ごとにタイマーを設定できます。累計時間が指定時間を超えた時点で通信できなくなります。
- ・ニンテンドー3DSシリーズ/Wii U、PS Vitaをはじめ、スマートフォンやタブレット、パソコンなどのWi-Fi機器にも設定できます。
- ・「こどもネットSSID」を使用するWi-Fi機器に対してWPS機能を使って接続できます。
- ・設定はスマートフォン/タブレットやパソコンから可能です。
- ・24:00になると、タイマーはリセットされ、設定した時間に戻ります。
- ・APモード時はご利用になれません。
- ・クライアントとの通信環境が悪い場合、正常にタイマーが作動しないことがあります。
- ・タイマー作動中にルータ本体(本製品)を再起動するとタイマーがリセットされます。
- ・設定を削除したい場合は、Wi-Fi機器側のプロファイルを削除してから本製品側で設定の削除をおこなってください。



注意

こどもネットタイマー機能を利用する場合は、WPS機能を使って通常のSSID接続に変更されてしまうことを防ぐために、本機能設定後に本製品のWPS機能を無効にすることをお勧めします。

画面の表示

画面左のメニューリストから[こどもネットタイマー]を選択します。

こどもネットタイマー

こどもSSID 接続中クライアント一覧

機器名称	MACアドレス	残り時間	タイマー	選択
ゲーム機	XXXXXXXXXX	02:00	スタート	☐

設定を変更したい機器を選択し、機器の名称と1日に接続できる時間を選択してください。
午前0時に「ネットタイマー設定」で設定した時間に戻ります。

ネットタイマー設定:

機器名称の変更:

こどもSSIDとWPSで接続を行う:

●こどもネットSSIDクライアント一覧

機器名称	接続しているWi-Fi機器の名称が表示されます。名称は[機器名称の変更]で変更することもできます。
MACアドレス	接続しているWi-Fi機器のMACアドレスが表示されます。
残り時間	1日に接続できる時間のうち、残り時間を表示します。
タイマー	[スタート]をクリックすると、ネットタイマーのカウントダウンを開始します。[ストップ]をクリックすると、ネットタイマーを中断します。
選択	Wi-Fi機器の設定を変更する場合にチェックします。

●設定の内容

ネットタイマー設定	1日に接続できる時間を選択します。
機器名称の変更	接続しているWi-Fi機器の名称を変更します。

●こどもSSIDとWPSで接続を行う

Wi-Fi機器側でWPS機能を実行したあと、をクリックすると、本製品にWPS機能を使ってWi-Fi機器を接続することができます。

●各ボタンの機能

追加	各Wi-Fi機器に設定した内容を「こどもネットSSID クライアント一覧」に反映します。
削除	[選択]をチェックしたWi-Fi機器をリストから消去します。 ※削除したクライアントとの接続が切断されていない場合、リストからは削除されず、設定のみリセットされます。

こどもネットタイマーの対象となるWi-Fi機器の登録

はじめて、こどもネットタイマーを設定するときは、Wi-Fi機器を登録する必要があります。あらかじめ「こどもネットSSID設定」画面で「こどもネットSSID」が有効になっていることを確認します。(→P55「こどもネットSSIDの設定」)

●Wi-Fi機器がWPSに対応している場合

- ① 本製品に登録するWi-Fi機器側でWPS機能を実行します。
- ② 「こどもネットタイマー」画面で「WPSスタート」をクリックします。



- ③ 正常に接続できると、接続されたWi-Fi機器が一覧に追加されます。

MEMO

Wi-Fi機器がWPSに対応していない場合

Wi-Fi機器の説明書をお読みにになり、SSIDおよび暗号キーを手動で設定してください。

- SSIDは「こどもネットSSID」を選択します。
- こどもネットSSIDの初期値は、「e-timer-XXXXXX」です。Xは、任意の英数字(0～9、a～f)です。
- 本製品のSSIDと暗号キーの初期値は、付属の設定情報シートに記載されています。



こどもネットタイマーの設定

登録したWi-Fi機器にこどもネットタイマー機能を設定します。

- ① こどもネットタイマー機能を設定する機器を一覧から選び、[選択]をオンにします。
- ② [ネットタイマー設定]で、タイマー時間を選択します。
- ③ 一覧に表示された機器名を変更する場合は、[機器名称の変更]に新しい名称を入力します。
- ④ 「追加」をクリックします。設定が保存されます。

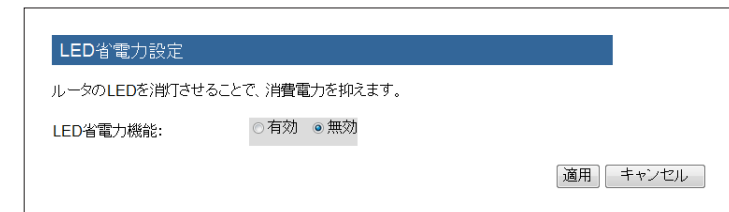
7

LED省電力機能の設定

本製品の省電力機能を有効にすると、電源・おしらせランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから「LED省電力設定」を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

LED省電力機能	「有効」を選択すると、電源・おしらせランプ以外のランプを消灯して消費電力を抑える「省電力モード」になります。(初期値：無効)
----------	--

8 ファイアウォールの設定

アクセスコントロール 画面

登録したMACアドレスを持つ無線LAN子機または有線クライアントとだけ通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線LAN子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

MEMO APモードでは、有線接続したクライアントに、アクセスコントロール機能を使用することはできません。

画面の表示 画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[アクセスコントロール]を選択します。

アクセスコントロール設定

特定の機器について、接続を許可する・許可しないを設定します。登録できる端末数は、最大 50 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。また、「許可」と「拒否」を混在させる設定はできません。

アクセスコントロール機能:

☐有効 ☒無効

コントロールモード:

接続許可

MACアドレス:

(記入例: 0090fe0123ab)

コメント:

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

現在の設定

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

選択したものを削除

全て削除

キャンセル

適用

MEMO 設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

アクセスコントロール機能	アクセスコントロール機能の有効/無効を設定します。
コントロールモード	接続許可: [アクセスコントロール]に登録したMACアドレスを持つクライアントだけが接続できます。 接続拒否: [アクセスコントロール]に登録したMACアドレスを持つクライアントとの接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への接続を許可または拒否するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●アクセスコントロール

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大50です。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

クライアントの登録

アクセスコントロール設定

特定の機器について、接続を許可する・許可しないを設定します。登録できる端末数は、最大 50 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。また、「許可」と「拒否」を混在させる設定はできません。

アクセスコントロール機能: ☒ 有効 ☐ 無効

コントロールモード: 接続許可 ▼

MACアドレス: 1234567890ab (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: sales-team05 (最大20文字、半角英数のみ)

追加

現在の設定

MACアドレス	コメント	選択
選択したものを削除 全て削除 キャンセル		

適用

- 1 [アクセスコントロール機能]で[有効]を選択します。
- 2 [コントロールモード]で[接続許可]または[接続拒否]を選択します。
- 3 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
- 4 必要に応じて[コメント]に、クライアントを区別するための名称など、コメントを入力します。
- 5 [追加]をクリックします。設定したクライアントが[アクセスコントロール]のリストに表示されます。
- 6 登録するクライアントが複数ある場合は、2～5を繰り返します。

ポートフォワーディング画面

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN(インターネット)側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。



注意

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P62「固定DHCP設定画面」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。



画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[ポートフォワーディング]を選択します。

ポートフォワーディング設定

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大 3 です。

ポートフォワーディング機能: ☐ 有効 ☒ 無効

ローカルIPアドレス	タイプ	ポート	コメント
	両方 ▼		

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

現在のIPアドレスフィルタテーブル

ローカルIPアドレス	コメント	タイプ	ポートレンジ	選択
選択したものを削除 全て削除 キャンセル				

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ポートフォワーディング機能	ポートフォワーディング機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
ローカルIPアドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値：両方)
ポート	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●現在のIPアドレスフィルタテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大3です。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

ポートフォワーディングの設定

ポートフォワーディング設定

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大 3 です。

ポートフォワーディング機能: ☒ 有効 ☐ 無効

ローカルIPアドレス	タイプ	ポート	コメント
192.168.2.180	両方 ▼	.	

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

現在のIPアドレスフィルタテーブル

ローカルIPアドレス	コメント	タイプ	ポートレンジ	選択
------------	------	-----	--------	----

選択したものを削除 全て削除 キャンセル

適用

- 1 [ポートフォワーディング機能]で[有効]を選択します。
- 2 [ローカルIPアドレス]に対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 [タイプ]でプロトコルのタイプを選択します。
- 4 [ポート]に対象となるポート番号を入力します。
- 5 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- 6 [追加]をクリックします。登録したクライアントが[現在のIPアドレスフィルタテーブル]に表示されます。
- 7 登録するクライアントが複数ある場合は、2～6を繰り返します。

URLフィルタリング設定 画面

特定のWebサイトのURLを設定することで、ホームページの閲覧を拒否することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[URLフィルタリング]を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

URLフィルタリング機能	URLフィルタリング機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
フィルタする文字列	接続を拒否するWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。

●URLフィルタ対象文字列リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録した文字列の情報を削除する場合にチェックします。登録できる文字列の数は最大5です。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックした文字列をリストから消去します。
全て削除	リストの文字列の設定をすべて消去します。

URLフィルタリングの設定

- 1 [URLフィルタリング機能]で[有効]を選択します。
- 2 [フィルタする文字列]に対象となるWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。
- 3 「追加」をクリックします。登録した文字列が[URLフィルタ対象文字列リスト]に表示されます。
- 4 「適用」をクリックします。
- 5 登録する文字列が複数ある場合は、②～④を繰り返します。

DMZ 設定 画面

通常、NAT変換を利用するルータでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定した端末にWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。



注意 設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[DMZ]を選択します。

The screenshot shows the DMZ configuration page. At the top, there's a title bar 'DMZ'. Below it, a message says '通信パケットの転送先を設定します。本設定を行う際には、転送先端末のセキュリティが確立されていることをご確認ください。' (Set the destination for communication packets. Please confirm that the security of the destination terminal is established when performing this setting). There are two radio buttons for 'DMZ機能' (DMZ Function): '有効' (Enabled) and '無効' (Disabled), with '有効' selected. Below that is a text input field for 'DMZ IPアドレス' (DMZ IP Address). At the bottom right is a blue '適用' (Apply) button.



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DMZ 機能	DMZ 機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
DMZ IP アドレス	インターネット（外部）に公開するWAN側IPアドレスを入力します。 「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

QoS 画面

QoS (Quality of Service) は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するとき有効です。



注意 設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニューリストから[QoS]を選択します。

The screenshot shows the QoS configuration page. At the top, there's a title bar 'QoS'. Below it, a message says 'QoSの設定を行います(上級者向け)。特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します' (Set QoS (Advanced). Ensure a certain communication speed for specific communication). There are two radio buttons for 'QoS機能' (QoS Function): '有効' (Enabled) and '無効' (Disabled), with '有効' selected. Below that is a section for 'ダウンロード/アップロード帯域設定' (Download/Upload Bandwidth Setting). It has two dropdowns for 'ダウンロード帯域幅' (Download Bandwidth) and 'アップロード帯域幅' (Upload Bandwidth), both set to '1' Mbps[1~30Mbps]. Then there's a section for '特定通信に関する設定' (Settings for specific communication). It has a dropdown for '通信方向' (Communication Direction) set to 'ダウンロード' (Download), a dropdown for '帯域幅' (Bandwidth) set to '1', a dropdown for '上限/下限' (Upper/Lower Limit) set to '下限' (Lower Limit), a text input for 'ローカルIPアドレス' (Local IP Address), a range input for 'ポート範囲' (Port Range) with an example '10000-10100', and a dropdown for 'プロトコル' (Protocol) set to 'TCP'. At the bottom right are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Below that is a table titled '現在のQoSルールテーブル' (Current QoS Rule Table) with columns: '通信方向' (Communication Direction), 'ローカルIPアドレス' (Local IP Address), 'ポート範囲' (Port Range), '上限/下限' (Upper/Lower Limit), 'アップロード帯域幅' (Upload Bandwidth), 'ダウンロード帯域幅' (Download Bandwidth), 'プロトコル' (Protocol), and '選択' (Select). At the bottom are buttons for '選択したものを削除' (Delete selected items), '全て削除' (Delete all), and 'キャンセル' (Cancel).



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●QoS機能

QoS機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)

●ダウンロード/アップロード帯域設定

ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値：1Mbps)
アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値：1Mbps)

●特定通信に関する設定

通信方向	通信方向を選択します。ダウンロード、アップロード、または両方のいずれかを選択できます。(初期値：ダウンロード)
帯域幅	通信で確保する帯域幅を入力します。(初期値：1Mbps)
上限/下限	最大帯域(上限)か最低帯域保証(下限)かの設定をします。(初期値：下限)
ローカルIPアドレス	この帯域を適用するクライアントのIPアドレスを入力します。
ポート範囲	この帯域を適用するクライアントのローカルポート範囲を入力します。
プロトコル	使用するプロトコルをリストから選択します。(初期値：TCP)

●現在のQoSルールテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したルールの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	[選択]をチェックしたルールをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
全て削除	リストのルールの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 [OK] をクリックします。
キャンセル	[選択]のチェックをすべてクリアします。

ルールの作成方法

QoS

QoSの設定を行います(上級者向け)。
特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します

QoS機能:

☒有効☐無効

ダウンロード/アップロード帯域設定

ダウンロード帯域幅:

1

Mbps[1~30Mbps]

アップロード帯域幅:

1

Mbps[1~30Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向:

ダウンロード

帯域幅:

1

上限/下限:

下限

ローカルIPアドレス:

192.168.2.111

ポート範囲:

10000

-

10100

入力例: 10000-10100

プロトコル:

TCP

適用

キャンセル

現在のQoSルールテーブル:

通信方向	ローカルIPアドレス	ポート範囲	上限/下限	アップロード帯域幅	ダウンロード帯域幅	プロトコル	選択

選択したものを削除

全て削除

キャンセル

- 1 [QoS機能]で「有効」を選択します。
- 2 アップロードで確保する全体の帯域幅または、ダウンロードで確保する全体の帯域幅を設定します。
- 3 [特定通信に関する設定]でルールの内容を設定します。項目の内容については、P90の一覧を参照してください。
- 4 設定が終われば、**[適用]**をクリックします。
- 5 登録するルールが複数ある場合は、**①～④**を繰り返します。

9 システム設定

システムメニューでは、機器のステータス表示、設定の保存、設定の初期化（工場出荷時の状態に戻す）、パスワード設定、ファームウェアのアップデートなどができます。ファームウェアの更新については、P97「10. ファームウェアのアップデート」をお読みください。

機器のステータス 画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[システム]→[ステータス]を選択します。

機器のステータス	
本製品のシステム情報を表示します。	
システム	
稼働時間:	0日 5時20分16秒
ファームウェアバージョン:	v1.00.03
動作モード:	ルータモード
現在時刻:	2013年10月18日 16時50分12秒
LAN側設定	
IPアドレス:	192.168.2.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
DHCP:	Enabled
MACアドレス:	
WAN側設定	
IPアドレス取得方法:	DHCP未接続
IPアドレス:	0.0.0.0
サブネットマスク:	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ:	0.0.0.0
MACアドレス:	
DNS Server:	0.0.0.0
無線設定状況(2.4G SSID)	
SSID:	elecom2g-XXXXXX
チャンネル:	6ch
暗号化:	WPA2-PSK(AES)
BSSID:	
関連クライアント数:	0
無線設定(こどもネット SSID)	
SSID:	e-timer-XXXXXX
チャンネル:	6ch
暗号化:	WPA2-PSK(AES)
BSSID:	
関連クライアント数:	0

●システム

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在選択中の動作モードを表示します。
現在時刻	本製品に内蔵された時計の現在の時刻を表示します。

●LAN側設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP機能の状態を表示します。「有効」と表示されている場合、DHCPサーバ機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

●WAN側設定

IPアドレス取得方法	WAN側のIPアドレス取得方法を表示します。
IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。
DNS Server	現在割り当てられているDNSサーバのアドレスを表示します。

●無線設定状況(2.4G SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

●無線設定(こどもネット SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

設定保存/読込 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム]→[設定保存と読込]を選択します。

設定の保存方法

- 1 [保存] をクリックします。
- 2 <ファイルのダウンロード>画面が表示されますので、[保存] をクリックします。
- 3 <名前を付けて保存>画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、[保存] をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。
- 4 <ダウンロードの完了>画面が表示されますので、[閉じる] をクリックします。<設定保存/読込>画面に戻ります。

設定の読み込み方法

- 1 [保存した設定を読込]の[参照] をクリックします。
- 2 <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- 3 [読込] をクリックします。
- 4 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<機器のステータス>画面が表示されます。

設定を初期化する(工場出荷時の状態に戻す)

- 1 [初期化]の[初期化実行] をクリックします。
- 2 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。
- 3 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<機器のステータス>画面が表示されます。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面の表示

画面左のメニューリストから[システム]→[パスワード設定]を選択します。

パスワード設定

本製品の管理画面にアクセスするためのログインユーザー名/パスワードを変更できます。
※全ての項目は、半角英数字(a~z, 0~9), _ , - で設定してください。
※より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

新ユーザー名: (最大30文字)
 現在のパスワード:
 新しいパスワード: (最大30文字)
 パスワードを確認:

適用 キャンセル



注意

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- 1 [新ユーザー名]に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- 2 [現在のパスワード]に、現在使用しているパスワードを入力します。
- 3 [新しいパスワード]に、新しく設定するパスワードを入力します。
- 4 [パスワードを確認]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- 5 [適用]をクリックします。
- 6 待ち時間が表示され、しばらくすると認証画面が表示されます。
- 7 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
 - ・〈機器のステータス〉画面が表示されます。

10 ファームウェアのアップデート

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアをアップデートすることで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。ファームウェアのアップデートの方法は3種類あります。

ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

自動更新	弊社Webサイト上に最新のファームウェアがあることを通知する「おしらせランプ」が点滅している状態でインターネットブラウザを開くと、メッセージ画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作すると、自動的にファームウェアを更新できます。
オンライン更新	bin ファイルをダウンロードせずに、オンラインでファームウェアの更新をおこないます。
手動更新	ダウンロードしたbin ファイルを、設定ユーティリティの「手動更新(アップデート)」機能を使って更新できます。



注意

- ファームウェアのダウンロードとアップデートは、必ずパソコンでおこなってください。スマートフォンやタブレット、Wi-Fiゲーム機などからは更新できません。
- パソコンと本製品のLANポートを有線LANで接続した状態で、ダウンロードとアップデートをおこなってください。パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- アップデートするファームウェアは、必ず本製品のものを使用してください。本製品以外のファームウェアを使ってアップデートすると、本製品が故障する恐れがあります。

最新ファームウェアのお知らせ機能

本製品の本体には、エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがあるかを通知する「おしらせランプ」があります。このランプが点滅しているときは、最新のファームウェアが存在することを示します。この状態で、インターネットブラウザを開くと、ファームウェアをアップデートするか案内の画面が表示されますので、画面のメッセージに従って作業を進めてください。

お使いのルータの最新ファームウェアがあります。
ファームウェアのアップデートを行うことで、製品がより安定した環境でご利用いただけます。
※ファームウェアアップデートによるデータ・設定の消去は生じません。

最新のファームウェアにアップデートしますか？

☐ 今後このページを表示しない

ファームウェアを自動更新するには、「おしらせランプ」による通知を有効にしておく必要があります。設定方法については、次ページの「ファームウェアの自動更新を有効にする」をお読みください。



通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、「手動更新(アップデート)」で更新することをお勧めします。

ファームウェアの自動更新を有効にする

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)

更新ファイルがある場合、ブラウザを開いた時に通知を行うかどうかを設定します。

・有効: 更新ファイルがある場合、LEDランプなどによる通知を行います。
また、自動更新を行うための各種設定を行うことができます。

更新ファイルがある場合でも、LEDランプなどによる通知を行いません。
・無効: 本管理画面の『手動アップデート』設定より、ファームウェアの更新(アップデート)を行うことができます。

☒ 有効 ☐ 無効

- 画面左のメニューリストから[システム]→[ファームウェア更新]→[自動更新]を選択します。
- [有効]を選択し、をクリックします。
- 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。をクリックします。
 - しばらくすると、〈機器のステータス〉画面が表示されます。

自動更新での更新手順

- 「おしらせランプ」が点滅している状態で、Webブラウザを起動します。
 - ファームウェアをアップデートするか案内の画面が表示されます。

お使いのルータの最新ファームウェアがあります。
ファームウェアのアップデートを行うことで、製品がより安定した環境でご利用いただけます。
※ファームウェアアップデートによるデータ・設定の消去は生じません。

最新のファームウェアにアップデートしますか？

☐ 今後このページを表示しない

- をクリックします。
- 案内メッセージが表示されます。をクリックします。
- 更新作業が始まります。**更新が完了するまで、本製品の電源をオフにしないでください。**
- 正常にアップデートが完了すると、設定ユーティリティへのログイン画面が表示されます。
- 「FWのアップデートが完了しました！！」と表示されます。Webブラウザ画面を閉じます。

オンラインで更新する方法

エレコムサーバ上にある更新ファイルを使って、オンラインでファームウェアの更新ができます。ファームウェアをダウンロードする必要がなく簡単に更新できます。



通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、「手動更新(アップデート)」で更新することをお勧めします。



画面左のメニューリストから[システム]→[ファームウェア更新]→[手動更新]を選択します。

- 1 [オンライン更新(アップデート)]で「更新ファイル確認」をクリックします。
- 2 最新のファームウェアがあるかメッセージが表示されます。最新ファームウェアがある場合は、「更新する」をクリックします。
 - すでに最新の場合は、「戻る」をクリックします。
- 3 案内メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。
- 4 更新作業が始まります。**更新が完了するまで、本製品の電源をオフにしないでください。**
- 5 正常にアップデートが完了すると、設定ユーティリティへのログイン画面が表示されます。
- 6 「FWのアップデートが完了しました！！」と表示されます。Webブラウザ画面を閉じます。

手動で更新する方法

ダウンロードしたファームウェアを、「手動更新(アップデート)」機能を使って更新します。



画面左のメニューリストから[システム]→[ファームウェア更新]→[手動更新]を選択します。

ファームウェアのダウンロード

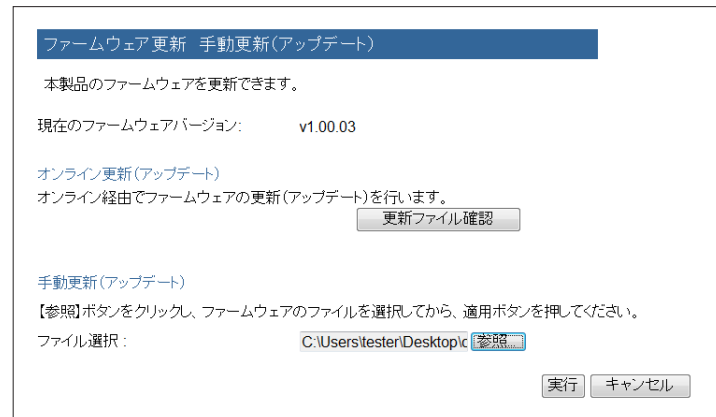
- 1 パソコンと本製品を有線LANで接続します。
 - パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- 2 インターネットに接続します。
- 3 エレコムWebサイト「<http://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- 4 [ダウンロード]をクリックします。
- 5 [型番で検索]で型番を入力し、「検索」をクリックします。
- 6 本製品向けにダウンロード可能な内容が表示されますので、ファームウェアを選びます。
- 7 説明に従ってダウンロードします。
 - ダウンロード前に注意事項などがないかダウンロードページでご確認ください。
 - ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。

Windowsでのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- 1 ダウンロードした圧縮ファイルのアイコン(電子レンジ型)をダブルクリックします。
- 2 メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
- 3 <ファームウェア更新 手動更新(アップデート)>画面で、**参照** をクリックします。
(P101「画面の表示」参照)。



- 4 <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、解凍したファイルを指定し、**開く** をクリックします。
- 5 **アップロードする** をクリックします。
- 6 アップデートを確認するメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。
- 7 「ファームウェア更新中。」と表示され、アップデートが開始します。
 - ・ アップデートが完了するまで、絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 8 アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
 - ・ 新しいファームウェアで動作するようになります。



エラー画面が表示された場合

本製品の電源ケーブル(ACアダプタ)を抜き差しして電源を入れ直してください。

Macでのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- 1 ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP形式)を解凍します。
 - ・ メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
 - ・ ご使用の環境によっては、解凍作業が不要な場合があります。
- 2 このあとは、「Windowsでのアップデート手順」の手順**3**～**9**を実行します。

Appendix

付録編

1 APモードで設定ユーティリティにアクセスする

本製品をAPモードでご使用の場合、ご使用のネットワークのセグメントが「192.168.2.xxx」以外のときは、本製品のLAN側のIPアドレスをご使用のネットワークのセグメントにあわせないと、本製品の設定ユーティリティにアクセスすることができません。以下の手順で、設定ユーティリティにアクセスし、IPアドレスを手動で設定します。

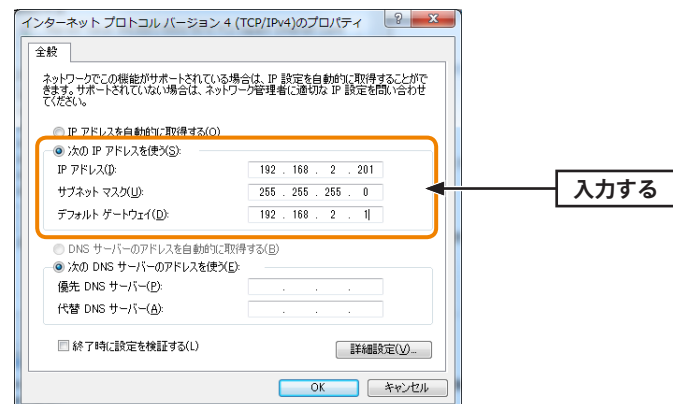
※本製品のIPアドレス（初期値）「192.168.2.1」を、他の機器でご使用の場合で、本製品にアクセスするときも、IPアドレスの変更が必要です。

1 設定用にパソコンを1台用意します。

2 パソコンの「IPアドレス」を手動設定に変更し、本製品と同じセグメント（192.168.2.xxx）を割り当てます。

例) パソコンのIPアドレス＝192.168.2.201

※ 192.168.2.1は本製品のIPアドレスの初期値です。使用しないでください。

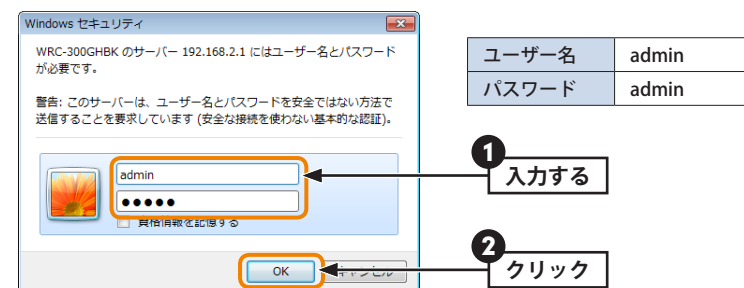


3 パソコンと本製品を有線LANで配線します。

4 パソコンのWebブラウザを起動します。アドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



5 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OKをクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。

6 画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[LAN設定]を選択します。

7 [IPアドレス]を、ご使用のネットワークのセグメントにあわせませす。

例) ご使用のネットワークが「192.168.0.1」の場合

→本製品の固定IPアドレス「192.168.0.xxx」

※「xxx」は、ご使用のネットワークの他のネットワーク機器と重複しない数値を設定してください。

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

DHCP: 有効

IPアドレス: 192.168.0.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCPクライアントIP範囲: 192.168.0.100 - 192.168.2.200

DHCPリース時間: 無制限

接続端末の表示

適用 キャンセル

入力する

本製品のIPアドレスは忘れないようにメモしてください。

192.168. .

8 適用 をクリックし、設定を保存します。

適用 キャンセル

クリック

9 設定に使用したパソコンのIPアドレスを「自動取得」に戻します。

10 これで、ご使用のネットワーク上のパソコンから、本製品の設定ユーティリティにアクセスできるようになります。

- 本製品の設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、パソコンのWebブラウザのアドレス欄に「http://(本製品に指定したIPアドレス)」を入力して、アクセスします。

例) 本製品に「192.168.0.201」を割り当てた場合→ http://192.168.0.201

2 スマートフォンから手動で無線接続する

カメラ機能を搭載していないiOS搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) またはAndroid端末から、本製品へ無線接続するには、暗号キー入力による手動設定が必要です。ここではiPhoneやAndroid端末から本製品へ手動でWi-Fi接続するための設定手順およびインターネットへの接続手順を説明します。

MEMO カメラ機能を搭載したモデルからの接続については、付属の印刷物「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

iPhone等/Android端末から本製品に無線接続する

説明中のSSIDおよび暗号キーの表記にある「X」は、実際には任意の英数字が表示されます。

MEMO

- 電波干渉を避けるため、Bluetooth機能をオフにすることを推奨します。
- 確実に接続するために、本製品の近くで設定してください。

iOS搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) からの接続

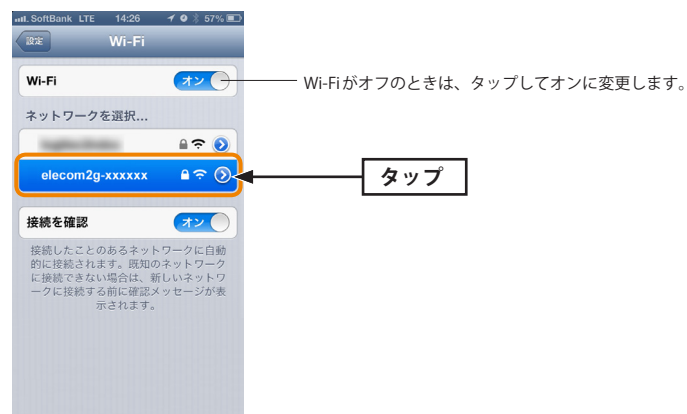
① メインメニューの[設定]をタップ(選択)します。



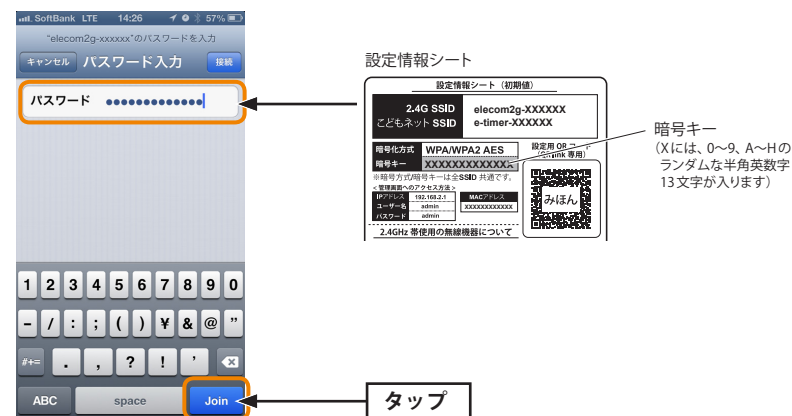
② 設定メニューの[Wi-Fi]をタップします。



③ リストに表示された「elecom2g-XXXXXX」をタップします。



④ 本製品のパスワードを入力し、[Join]をタップします。



- パスワードは、本製品に付属の「設定情報シート」の「Key」に記載されている13文字の半角英数字(すべて大文字)です。
- iOS搭載機器で英字を大文字で入力するには、毎回 を押してから、アルファベットを選択する必要があります。

⑤ 正しく接続できたか確認します。



MEMO

無線接続に失敗した場合

手順④で誤ったパスワードを入力した可能性があります。

次の手順で接続をやり直してください。

- ①リストに表示された「elecom2g-XXXXXX」の右端にある[>]をタップします。
- ②「このネットワーク設定を削除」をタップします。
- ③手順③からやり直します。

「ネットワーク“elecomXg-XXXXXX”に接続できません。」と表示された場合

次の手順で接続をやり直してください。

- iPhone/iPad/iPod touchの電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- Bluetooth機能がオンの場合、電波干渉によりWi-Fi接続ができないことがあります。
Bluetooth機能をオフにしてからやり直してください。

⑥ これでiPhone等から本製品への接続作業は完了です。

- 本製品からインターネットに接続する設定が完了していない場合は、P117「インターネット接続の設定手順」をお読みください。

Android 端末からの接続

① [アプリ一覧]のボタンをタップします。



MEMO

画面は一般的な例です。お使いの機種により画面の内容が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。詳しくは各社スマートフォンの説明書をご確認ください。

② [設定]をタップします。



- 7 画面上部に  が表示されていることを確認します。



- 8 これで Android 端末から本製品への接続作業は完了です。
- 本製品からインターネットに接続する設定が完了していない場合は、P117「インターネット接続の設定手順」をお読みください。

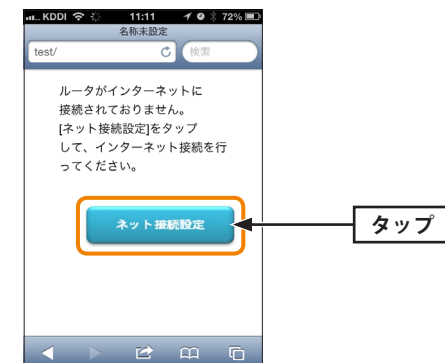
iPhone/Android 端末からインターネットに接続する

本製品は、パソコンを使わずに iPhone や Android 端末などからインターネット接続の設定が可能です。

本製品に Wi-Fi 接続ができるようになったあとで、以下の手順で操作してください。

インターネット接続の設定手順

- 1 インターネットブラウザを開くと、以下の画面が表示されますので、[ネット接続設定] ボタンをタップします。



MEMO

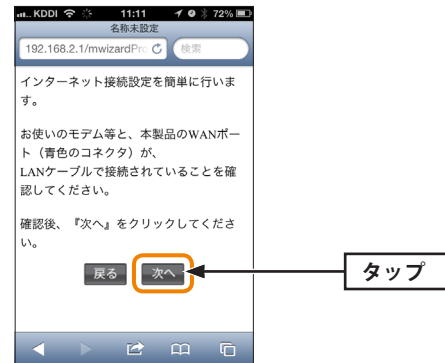
ブラウザを開いたときに、インターネットに接続できている場合は、すでに設定が完了しています。

- 2 [ユーザ名]、[パスワード]に、それぞれ「admin」と入力し、[ログイン]をタップします。



- すべて半角小文字で入力します。

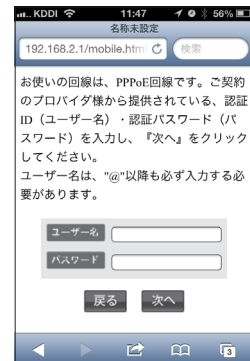
3 [次へ]をタップします。



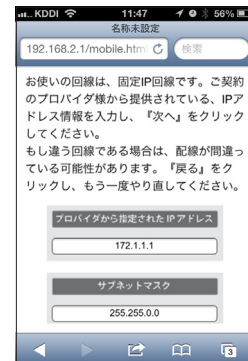
- インターネット回線の種別の自動識別が始まります。

4 DHCP接続の場合は、操作6の画面が表示されます。それ以外の回線の場合は以下のいずれかの画面が表示されます。

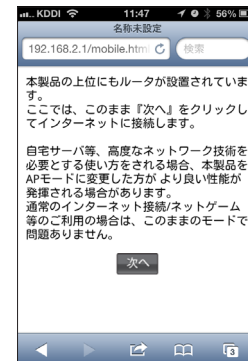
◆PPPoE回線



◆固定IP



◆上位にルータが存在



PPPoE回線

プロバイダより提供された「ユーザー名」「パスワード」を入力し、[次へ]をタップします。

※ユーザー名には、必ず@以降も入力してください。

固定IP

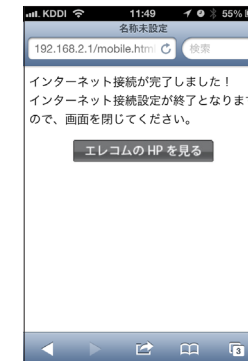
プロバイダより提供されたアドレス等を入力し、[次へ]をタップします。

上位にルータが存在

[次へ]をタップします。

5 インターネットに接続できるか自動的に確認します。その後、インターネットに正常に接続できると、操作6の画面が表示されます。

6 以下の画面が表示されたら、インターネットへの接続は完了です。



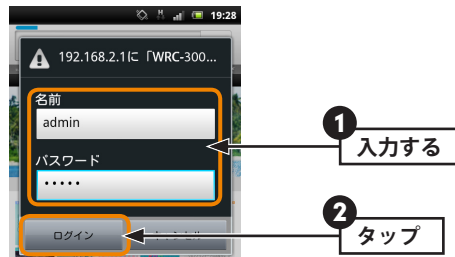
3 スマホ/タブレットからの詳細設定

本製品は、スマートフォンおよびタブレットから詳細な設定が可能です。以下の手順で設定画面を表示してください。なお、各項目の内容については、P49 Chapter 3「詳細設定編」の説明を参考にしてください。

- ① Web ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、実行します。



- ② ログイン画面が表示されます。[名前 (ユーザ名)]、[パスワード]に、それぞれ「admin」と入力し、[ログイン]をタップします。



※パスワード等を変更している場合は、変更したパスワード等を入力します。

- ③ スマホ版の設定画面が表示されます。下方へスクロールすると、設定項目のメニューが表示されます。[設定]等のボタンをタップすると設定画面等が表示されます。



MEMO

[PC版設定ページへ]をタップすると、パソコン対応の設定ユーティリティ画面が表示されます。ただし、ご使用の機種やブラウザによっては、画面が正常に表示されない場合があります。

4 サービス情報サイト使用時の設定

本製品でNTT東日本、NTT西日本のサービス情報サイトを利用する場合の設定手順を説明します。このマニュアルのP67「PPPoEを選択した場合」や、NTT東日本またはNTT西日本のホームページにある説明もご参照ください。

※「フレッツ・スクウェア」は、平成23年6月1日より「サービス情報サイト」に名称を変更しました。

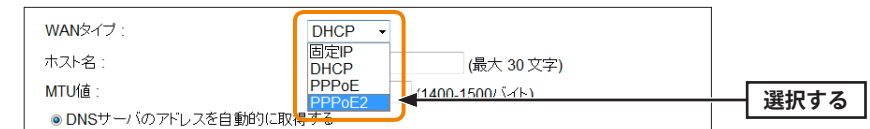
ここでは、通常のインターネット接続で使用するアカウントを「PPPoE1」、サービス情報サイトで使用するアカウントを「PPPoE2」に登録する例を説明します。



本製品はフレッツ光ネクストのNGN IPv4 サービスはサポートしておりません。接続にはBフレッツ等の設定方法を使用する必要がありますので、ご注意ください。

- ① 設定ユーティリティの画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[WAN設定]を選択します。(→P65「WAN設定画面」)。

- ② 「WANタイプ」で[PPPoE2]を選択します。画面が2つのアカウントに登録可能な画面に切り替わります。



- ③ 「WANタイプ」の下の入力欄に、通常のインターネット接続で使用するアカウント(ユーザー名とパスワード)を登録します。



4 引き続き「PPPoe 2」に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録します。

PPPoe 2

ユーザー名：
パスワード：
サービス名(AC)：

guest@flets
.....

入力する

NTT 東日本	ユーザー名：guest@flets	パスワード：guest
NTT 西日	ユーザー名：guest	パスワード：flets

5 すべての設定が終われば、**適用** をクリックします。

☒ IPv6ブリッジを有効にする。
☐ HW NATを有効にする。

適用

クリック

6 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新** をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。
すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

戻る 更新

クリック

- 他の設定を続ける場合→ **戻る** をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ **更新** をクリックし、手順 **7** へ進みます。

7 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<機器のステータス>画面が表示されます。

8 ブラウザをいったん閉じます。サービス情報サイトにアクセスするには、Webブラウザのアドレス入力欄に、「http://www.flets/」と入力し、ホームページに接続します。

5 こんなときは

MEMO

付属の印刷物「製品情報」の「FAQ (困ったときは)」もご参照ください。

無線LAN関係のトラブル

付属の「セットアップCD」のセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●無線LANが繋がらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？ プロトコル (TCP/IP など)、クライアント (Microsoft Network クライアントなど)、サービス (Microsoft Network 共有サービスなど) を環境に応じて設定する必要があります。

②ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？ セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANが繋がらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSが繋がらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやり直してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

付属の「セットアップCD」のセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当ててください。TCP/IPのプロパティにある〈IPアドレス〉タブで設定します。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

- ① ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

6 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようなになっているかを確認する方法を説明します。

ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線LAN子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合 ※画面はWindows Vistaの例です。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx" は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続※」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続：

接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P129「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows XP/2000の場合

- ① [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。



※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P129「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字（初期値：100～200のいずれか）です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

7 基本仕様

無線 LAN 部

規格	IEEE802.11n / IEEE802.11g (2.4GHz 帯) / IEEE802.11b (2.4GHz 帯)
周波数帯域	2,400～2,484MHz
チャンネル	Auto/1～13ch
伝送方式	11n/11g：OFDM 方式、11b：DS-SS 方式
データ転送速度(理論値)	11n：最大 300Mbps、11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ(親機)
アンテナ方式	送信 2 本 / 受信 2 本
セキュリティ	WPA2-PSK (AES)、SSID (ステルス設定可)、マルチ SSID、 MAC アドレスフィルタリング
設定方式	WPS2.0 (ボタン搭載)

WAN/有線 LAN 部

規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T) / IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3x
コネクタ	WAN：RJ-45 × 1 ポート、LAN：RJ-45 × 4 ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ、その他一般仕様

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット (WAN) 接続方式	PPPoE 認証接続 (2 セッション)、IP アドレス自動取得接続、 IP アドレス固定接続
LAN 接続方式設定	DHCP サーバ(有効/無効)、固定 IP アドレス(手動設定)
セキュリティ	MAC アドレスフィルタリング(許可/拒否)、 IP アドレスフィルタリング(許可/拒否)
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、仮想 DMZ
ダイナミック DNS (DDNS)	クリアネット (ロジテック無料提供サービス)、DynDNS 等
消費電力(定格)	4W
外形寸法	幅 168 × 奥行 25 × 高さ 135mm (スタンド含む)
質量	約 200g (AC アダプタ、スタンドは含まず)

IEEE802.11n/11g/11b 準拠 無線 LAN ブロードバンドルータ WRC-300GHBK
ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社 2014 年 1 月 8 日 第 1 版

ELECOM